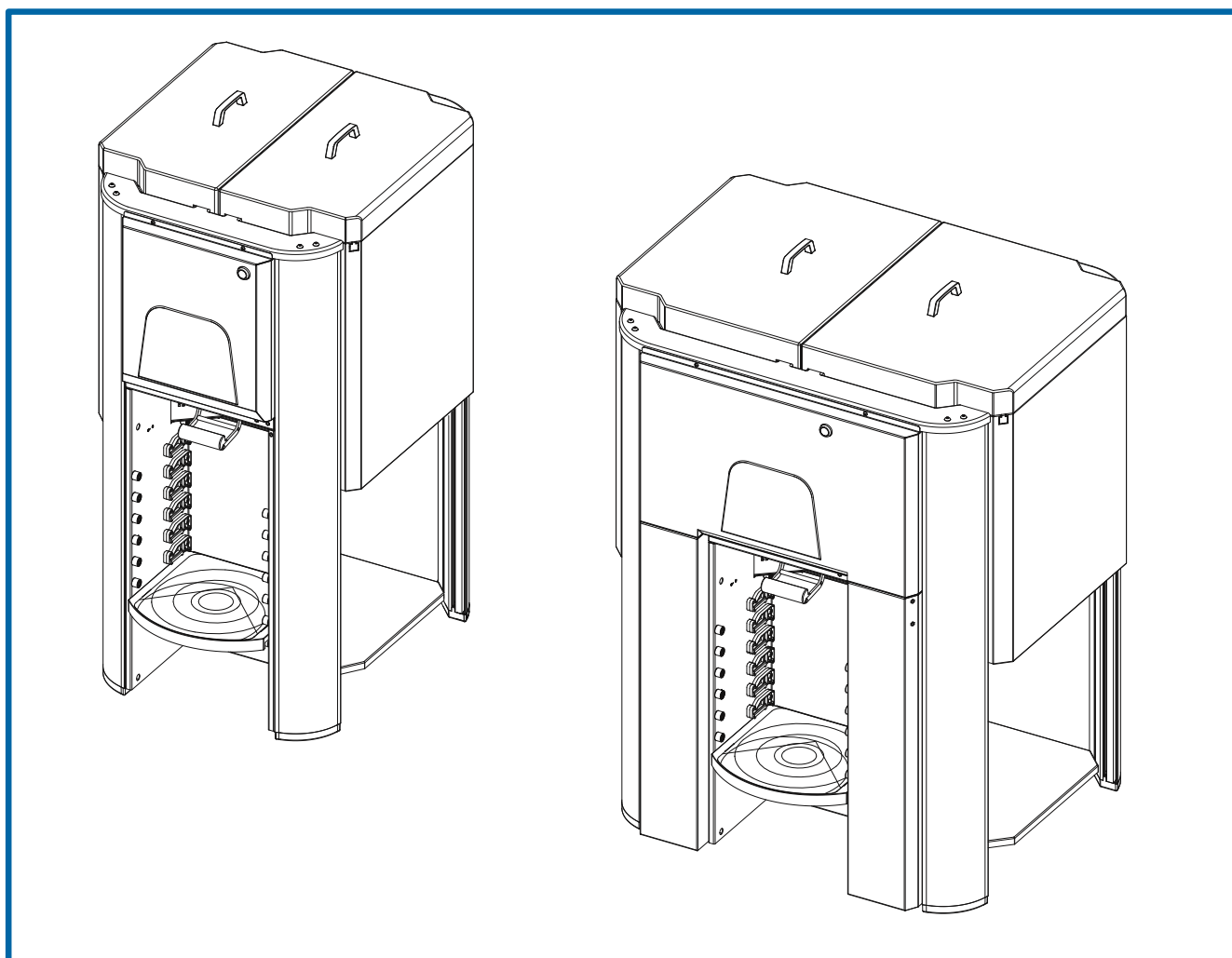


EVO1ST

V02

自動デispensサー ユーザーマニュアル



ユーザマニュアル
自動デイスペンサー
EVO1ST V02
バージョン 1.0 - R0 (12/2023)
原本

© COPYRIGHT 2023, COROB S.p.A.

すべての国において不許複製・禁無断転載

本マニュアルの追加を必要とされる場合、また本マニュアルに関する技術的な情報に関しては、下記までご連絡ください：

COROB S.p.A.

Via Agricoltura 103 • 41038 San Felice s/P • Modena • Italy

Phone: +39-0535-663111 • Fax: +39-0535-663285

COROB India Pvt. Ltd.

Regd. Office: 502 & 503, Kohinoor City Wing A Office Area Industrial Estate and Premises

Cooperative Society Ltd., Wing B, 5th Floor, Kirol Road, Off LBS Marg, Kurla Mumbai Mumbai MH 400070 IN

Phone: +91 22 6649 7777

Factory: Shed No 1-B and 1-A, Nandigram Realtors, N H No 48, Near Nandigram

Jain Temple, Umbergaon, Bhilad, Valsad, Gujarat, 396105

Mobile: +91 7211199701

www.corob.com

知的財産権および免責事項

COROB S.p.A.の書面による事前の許可なしに、本マニュアルのいかなる部分も他の言語に翻訳したり、いかなる形式でも、コピーや記録を含め、これらに限定されない手段で電子的または機械的に改変あるいは複製することは禁止されています。

COROBは登録商標であり、COROB S.p.A. およびその関係企業(以下“COROB”という)が独占的に使用するものとします。

本書に商標の記載がない場合、これはすなわち COROB が当該の商標に関する知的財産権を行使しないということを意味するものではありません。

本マニュアルに含まれる技術情報は、COROB が独占的に使用する専有のノウハウ、設計、図面、および/またはアプリケーションを指しており、多くの場合、特許および/または特許出願の対象となり、したがって国際および国内知的財産法によって保護されています。

特に明記されていない限り、画面および/または例で使用されている COROB およびその関連会社以外の他社への言及、その名前、データ、および住所は単なる例であり、COROB 製品の使用を明確にするための参考としてのみ、使用されているものです。

本マニュアル内に記載されている文章および図版等は注意深く検閲されておりますが、誤字・脱字あるいは情報の誤りなどがあつた場合には、COROB はいつでも、またいかなる理由によっても、お客様に通知することなく、本規約の修正、改正、更新、削除する権利を有しています。

本マニュアルは、最終使用者による COROB 製品の予見可能かつ通常の用途に必要なすべての情報が含まれています。

本マニュアルには製品の修理に関するガイドラインや情報は記載されておりません。安全のため、これらの作業は訓練を受け認可された技術者のみ実施することができます。これらのことが守られていない場合、人体への損傷や製品への損害を招く恐れがあります。

上記目的のため、COROB は認可を受けた技術者を起用しております。

認定された技術者とは、COROB および/またはその関連会社が開催する技術トレーニングコースを受講した技術者を指します。

許可されていない不正な作業が行われた場合、販売契約あるいは COROB の一般販売条件に従い、COROB 製品の保証範囲が無効になる可能性があります。COROB は一般販売条件により定められている保証範囲内でのみ、責任を負うものとします。

特例が認められない法律の規定が不正に取り扱われた場合、COROB は責任を負いかねます。従って、上記の保証の限定あるいは除外に関しては、適用されない場合があります。

最寄りの公認技術サービスのお問い合わせ先に関しては、最終使用者の方は COROB にご連絡くださるか、またはサイト www.corob.com をご覧ください。

クイックガイド

一日の仕事の始まりに

- ノズルセンターが汚れていないことを確認してください。
- (水性色材用加湿装置を使用している場合) 採水器内の水が最小レベルを下回っていないことを確認してください。
- システムのパージを実行してください。

覚えておくこと

- 絶対に機械をオフの位置にしないでください。
- キャニスター内では、各色材の攪拌が自動的に行われます (ただし、攪拌時間はカスタマイズ可能)。
- キャニスターに必要以上の色材を入れないように注意してください。過剰に充填した場合は、ユーザーマニュアルの記載に従ってください。
- キャニスター内に注入する色材は、手作業で攪拌する必要があります。自動シェーカーは使用しないでください。
- 注入作業後は、すぐにキャニスターのふたを閉めてください。
- 管理ソフトウェアでキャニスターの充填レベルを適宜忘れずに更新してください。
- (水性色材用加湿装置を使用している場合) 採水器の最小レベルに達したら、すぐに水を補充してください。最大レベルを超えないようにしてください。

一日の仕事の終わりに

- キャニスターを再充填してください。
- 管理ソフトウェアのキャニスターの充填レベルを更新してください。
- コンピュータをシャットダウンしてください。機械は停止させないでください。

ユーザーマニュアルを慎重にお読みください。

目次

1	一般情報	5
1.1	本マニュアルの目的と使用方法	5
1.1.1	通常使用されるグラフィック	5
1.2	定義	5
2	特長	6
2.1	機械の詳細	6
2.2	ユニットの説明	7
2.3	使用できる缶	9
2.4	本来の使用目的および論理的に予見可能な誤使用	9
2.5	識別情報	9
3	安全性	10
3.1	安全上の警告と不正使用	10
3.2	色材の使用に関する警告	11
3.3	残存リスク	12
3.4	ラベルの位置	13
3.5	緊急事態	14
3.6	設置場所の要件	14
4	輸送および取扱い	15
4.1	全般に適用する警告	15
4.2	開梱と設置	15
4.2.1	標準付属品	17
4.3	保管	17
4.4	廃棄およびリサイクル	17
5	機械の始動	18
5.1	全般に適用する警告	18
5.2	接地方法 (ETLバージョンのみ)	18
5.3	管理コンピュータ	20
5.4	制御装置および接続	20
5.5	オフラインボタンの使用	21
5.6	電気接続および電源投入	22
5.7	シャットダウン	23
6	デispenserの使用	24
6.1	全般に適用する警告	24
6.2	一日の仕事の始まりに	24
6.3	機械の稼働	24
6.3.1	缶の台の高さの調整、および缶の位置調整	24
6.3.2	吐出	25
6.4	攪拌の自動タイマー	26
6.5	キャニスターの再充填	27
6.6	トラブルシューティング	30
7	日常の保守作業	31
7.1	全般に適用する警告	31
7.2	保守表	31
7.3	使用する製品	31
7.4	機械外部の洗浄	32
7.5	ノズルセンターの清掃 (加湿装置のキャップ)	32
7.6	スポンジを清掃し、湿らせる (加湿装置のキャップ)	33
7.7	加湿装置の採水器の再充填	36
8	技術仕様	37
8.1	技術データ	37
8.2	寸法	38
8.3	適合宣言	39
8.4	保証	39

1 一般情報

1.1 本マニュアルの目的と使用方法

本機をご使用になる前に、本マニュアルをよくお読みください。

製品の梱包に挿入された本マニュアルには、使用に際しての指示、および長期間にわたって機械の性能を維持するために必要な日常のメンテナンスについて記載されています。本マニュアルには、機械を正しく使用し、事故を避けるために必要なすべての情報が記載されています。

本マニュアルは機械の一部であり、機械が最終的に解体されるまで、必ず機械と一緒に保管してください。

本マニュアルには、機械と付属品に関して、マニュアルが作成時された時に利用可能なすべての情報が含まれています。付属品については、異なる操作手順を含む部分的な変更や変更が含まれています。

紛失したり部分的に破損したりして内容を完全に読むことができなくなった場合は、製造元に新しいマニュアルを要求してください。

本マニュアルに含まれる画像に、保護装置が施されていない機械や個人用保護具を着用していない作業員が描かれている場合、これらはあくまでも、説明事項を分かりやすくする目的でそのように描かれているだけです。

本マニュアルのイラストのいくつかは模範例です。標準製造モデルでは、一部の詳細が異なる場合があります。

1.1.1 通常使用されるグラフィック

太字の表記は、特に重要な注記や情報を強調表示するために使用されています。



危険

人身への障害の危険性を示しています。



警告

機械への損害の危険性を示しています。この損害は、機械の操作を妨害する可能性があります。



取るべき予防措置や方策に関しての、重要な指示を表しています。



コンピュータにインストールされているソフトウェアの管理を含む操作や状況を示しています。



説明されている作業を実行するには、指定されたツールが必要であることを示しています。

1.2 定義

オペレーター

塗料やそれに類する製品の製造方法に精通し、制御装置によって機械を操作および使用すること、およびすべての安全装置が設置され有効になっている状態で生産材料を積み降ろすことについて訓練を受け、認可されている人員。オペレーターは安全な条件下でのみ作業する必要がある、定期的な保守作業を実行することが許可されています。

保守技術者/設置技術者

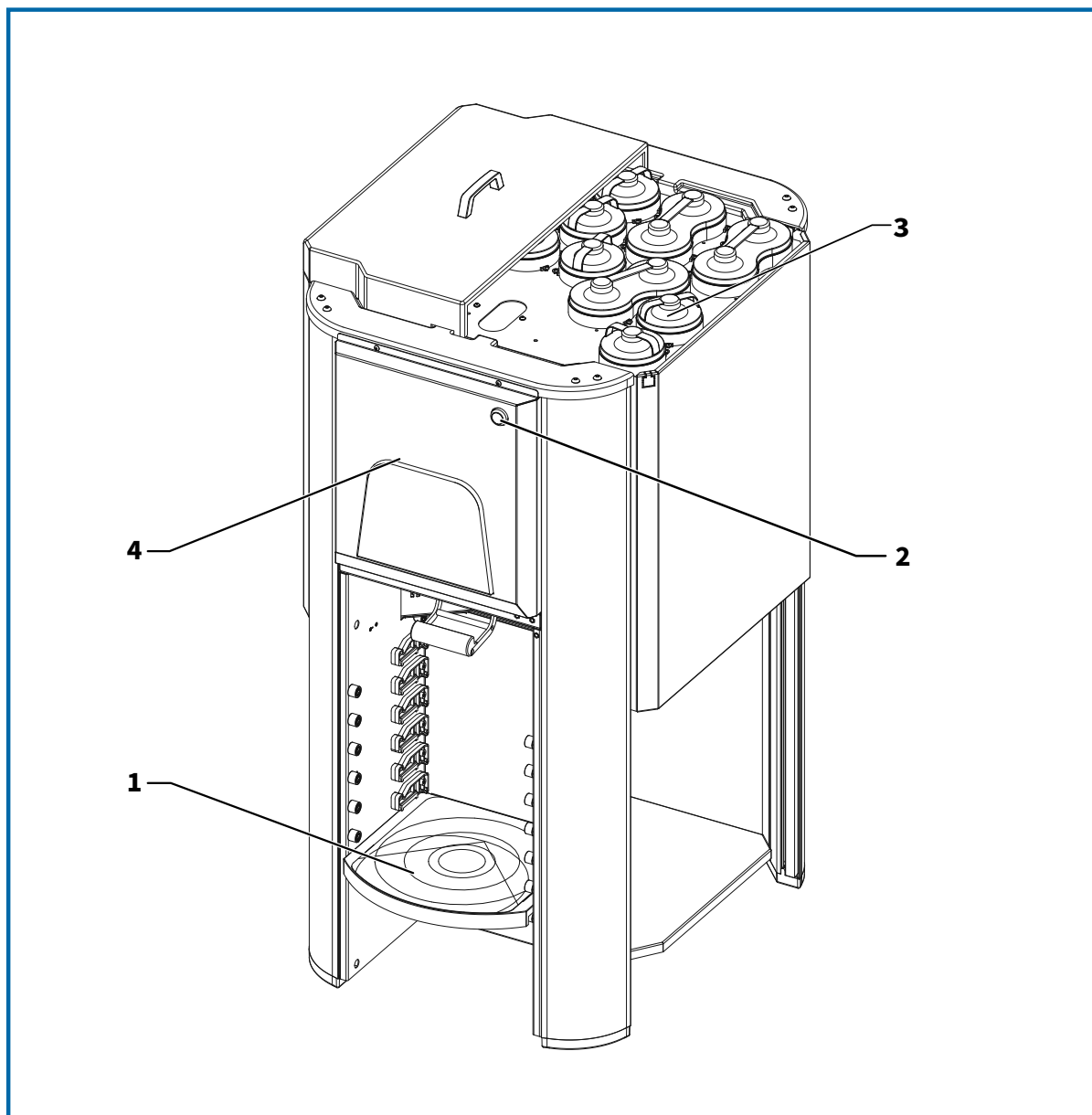
技術分野（機械および電気）で準備および訓練を受けている専門家。機械の設置、調整、故障の修理、または保守作業を実施するよう製造元から任命されている人員。

2 特長

2.1 機械の詳細

自動ディスペンサーは、液体色材製品を本マニュアルに記載されているサイズのベース製品があらかじめ充填された容器（金属またはプラスチック製キャニスター、缶、またはビン）に自動的に吐出させ、機器管理ソフトウェアを使用して選択された希望の色合いの塗料、染料、エナメル、インクなどの完成品を製造する装置です。

5Gテクノロジーを使用したディスペンサー **EVO1ST V2** には、ファームウェア併用時の中断された調合のリカバリー機能、およびこれらの機能をサポートする吐出プログラムが含まれます。



機械には、[S] バージョン (小型) と [L] バージョン (大型) があります。

ディスペンサーは以下から構成されています。

1. 吐出エリアおよび缶取り扱いシステム
2. オフラインボタン
3. キャニスター充填エリア
4. 前部アクセスドア

ディスペンサーはコンピュータが制御します。製造元は、機械のすべての機能を制御する幅広いソフトウェアアプリケーションの提供も可能です。

機械に**COROB Connect**が装備されている場合、AndroidまたはWindowsのタブレットデバイスと対応する吐出ソフトウェアを介して操作することができます。吐出ソフトウェアがインストールされている装置と機械間は自動的に接続されます。

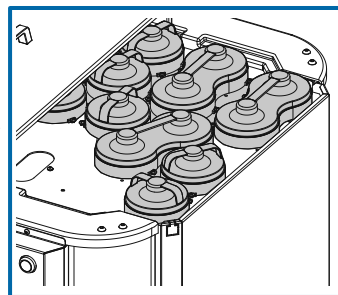
2.2 ユニットの説明

キャニスター

機械のキャニスターはそれぞれが異なる容量で、吐出される製品を収容するのに適しています。

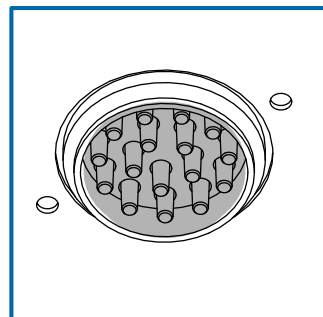
機械上部にカバーがあるため、アクセスしてキャニスターを充填することができます。

各キャニスターにそれぞれの蓋があります。



ノズルセンター

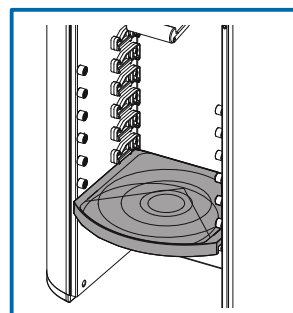
キャニスターからの吐出パイプの端はノズルセンターに固定されており、そこから缶に充填する着色製品が吐出されます。



台

缶の台により、缶を吐出ノズルの下に正しく配置することができます。

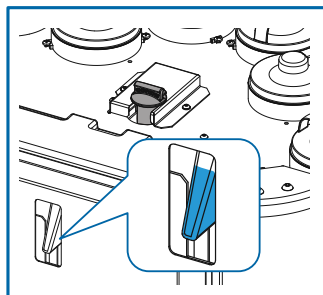
手動調整可能な台は取り外しができ、専用の溝に挿入するだけで希望の高さに調整可能です。



ノードライノズル加湿装置

水性色材用加湿装置は、ノズルを絶えず確実に加湿します。採水器内の水で加湿された空気がノズルエリアに送られます。検出された湿度レベルに基づき、システムは必要な時に起動したり、オフにしたりします。

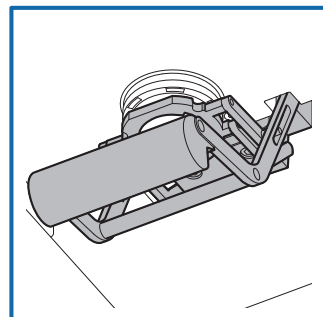
機械で使用するティンテイングシステムに応じて、2個のシステムが別々または一緒に取り付けられます。



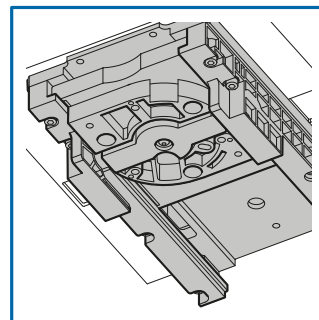
ノズル加湿キャップ

ノズルセンターで色材が乾燥しないようにするため、機械には加湿キャップが装備されています。

缶の位置調整中にオープニングバーを押すと、回転キャップが開きます。缶が取り外されると、キャップが閉じます。キャップが開くと、システムは缶の存在を確認し、吐出を開始します。

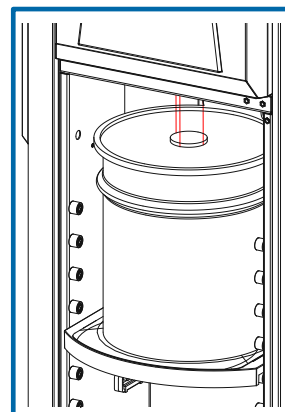


自動スライディングキャップは、ノズルが確実に密閉されるようにする自動キャップです。吐出前に自動的に開き、吐出後はすぐに閉じるようにソフトウェアに制御されます。



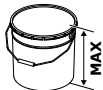
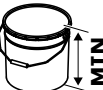
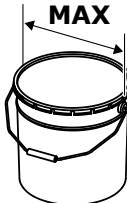
栓口ロケター (B.H.L.)

レーザー光線を照射し、穴が吐出ノズルの中央と揃うようにあらかじめ穴が開いている缶の位置を調整するシステムです。



2.3 使用できる缶

	35 kg 77 lb
---	----------------

自動キャップ>	回転キャップ	自動スライディングキャップ												
	475 mm [18.7"]													
	170 mm [6.7"]													
	<table><tr><td></td><td>320 mm [12.6"]</td></tr><tr><td></td><td>320 mm [12.6"]</td></tr><tr><td></td><td>280 mm [11.0"]</td></tr></table>		320 mm [12.6"]		320 mm [12.6"]		280 mm [11.0"]	<table><tr><td></td><td>320 mm [12.6"]</td></tr><tr><td></td><td>320 mm [12.6"]</td></tr><tr><td></td><td>320 mm [12.6"]</td></tr></table>		320 mm [12.6"]		320 mm [12.6"]		320 mm [12.6"]
	320 mm [12.6"]													
	320 mm [12.6"]													
	280 mm [11.0"]													
	320 mm [12.6"]													
	320 mm [12.6"]													
	320 mm [12.6"]													
	70 mm [2.8"]													
	54 mm [2.1"]													
														

0.5リットル缶および1リットル缶 (1パイント缶および1クォート缶) は充填レベルが高いため、COROBでは穴を開けないよう推奨しています。

2.4 本来の使用目的および論理的に予見可能な誤使用

本機械は、小・中・大規模の販売店または専門の塗装店で色材を吐出するための業務用に使用することを目的としています。

本機械は、第2.3章 (使用できる缶) で規定された限度内の缶、第8.1章 (技術データ) の表に明記された色材を使用し、本マニュアルに記載された手順に従って使用する必要があります。

本マニュアルから暗示または推定できない、記載以外の機械の使用は、不適切かつ意図的ではないとみなされるため、これらの要件の不遵守から生じる製造元の責任は無効になります。

2.5 識別情報

機械には、以下の内容を示す識別プレートが取り付けられています (第3.4章)。

1. 製造元名
2. マーキング
3. 機械のモデル
4. 製造年月
5. シリアル番号
6. 電気仕様



どのような場合においても、識別プレートを取り外したり、改ざんしたりしないでください。

3 安全性

3.1 安全上の警告と不正使用



必須事項

- 機械の操作を行う前に、ユーザーマニュアルをよくお読みください。
- 機械は本来の用途にのみ使用してください。
- 機械上の標識に細心の注意を払ってください。
- 指示されている場合は、個人用保護具を着用してください。
- 適切な訓練を受け、認定された人員（保守技術者）のみが、臨時保守や修理のためにパネルで保護された機械部品にアクセスする権限を与えられています。
- オペレーターによる日常の保守作業は、機械の電源を切り、電源ケーブルを主電源ソケットから外した状態で行う必要があります。
- 本機械の操作は一人のオペレーターが実施してください。動作中に機械の部品に手を伸ばしたり触れたりできる許可のない人は、その場にいることが禁じられています。
- 本機械を使用するオペレーターは、成人に達し、産業医によって定義された適切な精神物理的状态にある必要があります。
- 着色剤、塗料、溶剤、潤滑剤、洗浄剤など、本機械で使用される可能性のある物質は、健康に危険を及ぼす可能性があります。これらの物質の取扱い、保管および処分は、現在の規制および製品に付属の説明に従ってください。



禁止事項

- 第2.3章（使用できる缶）で規定された限度を超える缶、および技術データ表に明記されたものとは異なる色材では、本機械を使用してはなりません。
- 機械は防爆ではないため、爆発の危険性のある区域で使用してはなりません。
- 機械に可燃性の高い液体を入れないでください。揮発性溶剤を含む色材を使用する場合は、第3.5章「設置場所の要件」の指示に従ってください。
- 火花を発生させたり、火災の原因になる得る裸火や材料を使用しないでください。
- 機械近くでの喫煙は禁止されています。
- 機械を食品用途に使用しないでください。
- オペレーターは、保守技術者または設置技術者のみが許可されている操作を実行してはなりません。製造元は、この禁止事項の不遵守に起因する損害について責任を負うことはできません。
- 保護装置を用いずに機械を使用することや、機械に装備されていた安全装置を無効、分解あるいは取り外して機械を使用することは禁じられています。パネルは常時必ず閉じておいてください。
- レーザー栓口ロケーター（クラスIIのレーザー製品）の光源を見つめないでください。
- 機械が発火した場合は、絶対に水をかけないでください。乾燥粉末消火器または二酸化炭素消火器のみを使用し、製造元が指示し、消火器に記載されている指示と警告に厳密に従ってください。



電氣的な危険

- ユーザーは、障害発生時に自動的に介入する RCD（残留電流装置）保護装置を備えた TN または TT 電源システムにマシンを接続する必要があります。
- 常に適切な接地が確保されるソケットに機械を差し込んでください。現在の事故防止規制に従って、線は過負荷、短絡、直接接触から保護する必要があります。接地が適切に行われていない場合、感電の危険があります。
- 機械は、識別プレートに記載されている仕様以外の電源を使用して電力を供給してはなりません。
- 突然停電になった場合は、電源が戻ると機械は自動的にオンになり、自動プロセスを実行して製品が乾燥しないようにします。
- 感電や怪我の危険を防ぐため、機械は屋内でのみ使用してください。雨や湿気の多い屋外での使用は禁止されています。
- 保守作業を行う前に、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

- 電源ケーブルが分離されると、機械は電源供給から遮断されます。従って、アクセスしやすい主電源ソケットの近くに設置する必要があります。
- 機械の電源に延長コードを使用しないでください。
- 機械に電力を供給するソケットには、他の機器を接続するためのマルチソケットを使用しないでください。コンピュータなど、シリアルポートを介して機械に接続されている機器の電源が等電位 (アースへのアクセスポイントは一つ) であることを確認してください。電位差があると、干渉が発生したり、シリアルポートが破損したりするためです。
- 電源ケーブルの状態を定期的を確認してください。損傷している場合は、製造元が提供する新しいケーブルと交換してください。

3.2 色材の使用に関する警告



危険

本機械は、一般的な着色製品の使用に適しています。着色剤のパッケージに記載されている使用説明に注意深く従い、製品の販売店または製造元が提供する必要がある**製品安全データシート (MSDS)**をよく読んでください。

提供されている安全上の注意事項をすべて遵守してください。義務付けられている場合は、指定された個人用保護具を着用してください。

以下は、色材の製造元が提供する最も一般的な警告と安全上の注意事項の一部です。

1. 飲み込むと有害です。
2. 目や皮膚との接触を避けてください。目や皮膚に付着した場合は、多量の水で洗い流してください。
3. 子供の手の届かないところに保管してください。
4. 義務付けられている場合は、指定された個人用保護具を着用してください。
5. 誤って製品が漏れたりこぼれたりした場合は、その場所を十分に換気し、本マニュアルおよび製品自体に付属の説明の指示に従って作業を行ってください。
6. 着色剤を下水システムに廃棄しないでください。廃棄物を廃棄する場合は、地域の規制に従ってください。

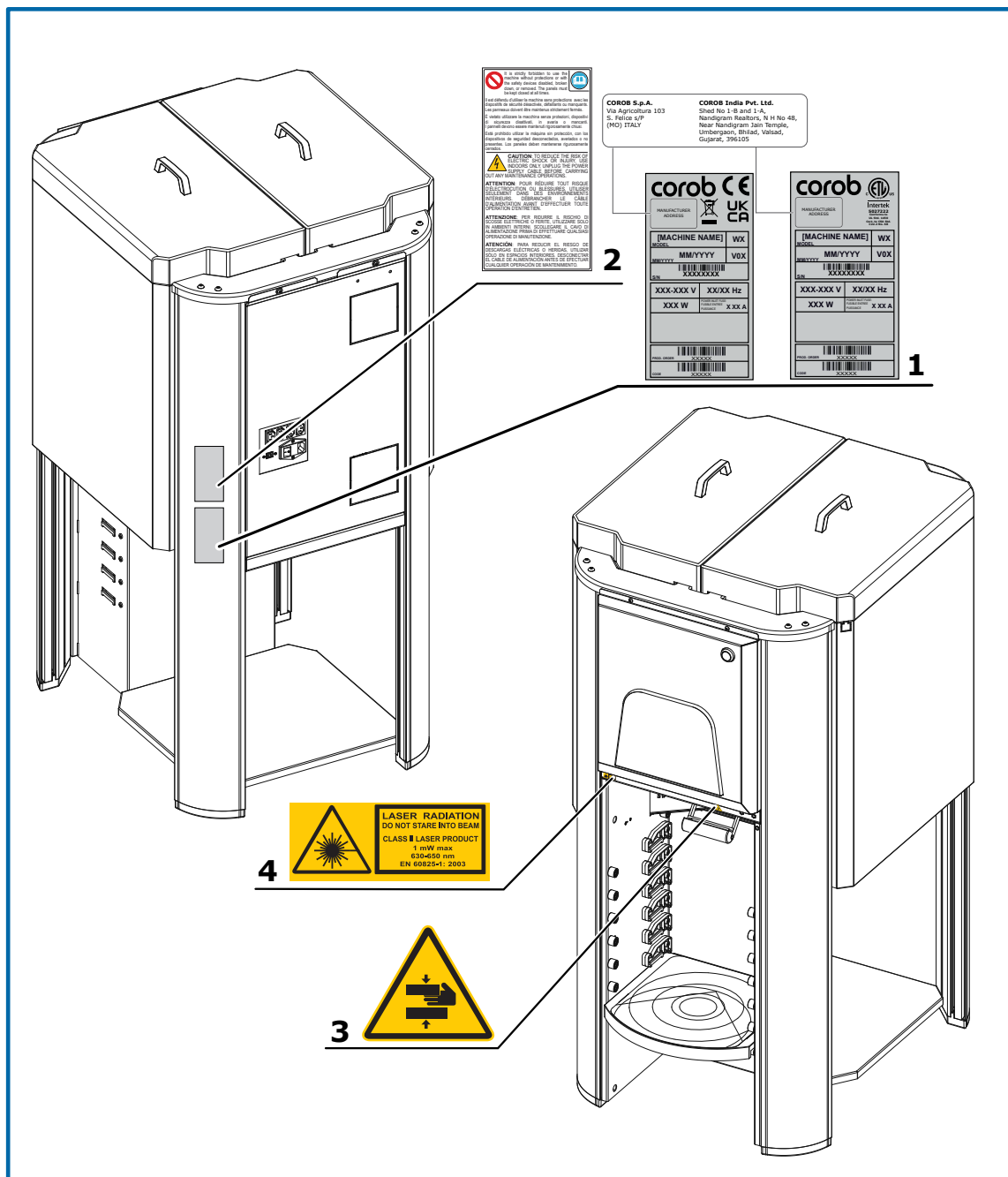
3.3 残存リスク

リスク	予防策	個人用保護具	参照本マニュアル内
	感電の危険 - アース接続が装備されていないソケットから機械に電力を供給すると、感電の危険があります。	\	第5章
	感電の危険 - 最初に電源を切らずに、パネルで保護された機械部品にアクセスすると、感電の危険があります。	\	
	背部/腰部損傷 - 機械を移動するときや台に缶を積み込む時に重い荷物を扱うと、怪我の原因になる可能性があります。	  機械的リスク保護手袋 (裂け、摩耗)	4 - 6 の各章
	物体の落下/衝突の危険 - 台に缶を置く際、オペレーターの上に缶が落下する危険性があります。	 	第6章
	圧迫 / 巻き込みの危険 - 加湿キャップおよび台の自動動作により、けがをするおそれがあります。	 機械的リスク保護手袋 (裂け、摩耗)	第6章
	圧迫 / 巻き込みの危険 - 色材の再充填作業中、キャニスター内の攪拌器が自動的に回転を始めるおそれがあります。	 機械的リスク保護手袋 (裂け、摩耗)	第6.5章
	滑る / 転倒の危険 - 台の使用を誤ると、けがの原因になる場合があります。	  機械的リスク保護手袋 (裂け、摩耗)	第6章
	爆発の危険	\	第2.4章 第3.6章
	レーザー光線への曝露の危険 - 栓口ロケター (B.H.L.) は目に危険を及ぼす可能性のある赤のレーザー光線を使用します。	\	第6章
	中毒または感作の危険 - キャニスターの最充填作業中、機械の清掃作業中、および廃棄作業中に、色材から発生するガスは中毒、または感作を引き起こすおそれがあります。	MSDS (製品安全データシート) で推奨されている個人用保護具。	3.2 - 4 - 6 - 7 の各章

3.4 ラベルの位置

1. 識別プレート (第2.5章)
2. 「一般的な警告」のラベル
3. 「圧迫の危険」ラベル
4. 「レーザーの危険」ラベル

 安全ラベルや指示ラベルを剥がしたり、判読不能にしたりしないでください。判読できなくなったラベルや紛失したラベルは製造元に依頼して交換してください。



3.5 緊急事態

事故、故障、不具合などの緊急事態が発生した場合：

- 機械の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてください (第5.6章)。
- 製造元の認定技術サービスにお問い合わせください。

3.6 設置場所の要件

機械が使用される場所の環境要件:

- 清潔でホコリがないこと。
- 床が平らで安定していること。
- 接地付き電源ソケットが装備されていること。
- 機械のどの箇所も良好な視認性を確保するために十分な照明が装備されていること (光値 500 ルクス以上)。
- 有害なガスの濃度が高くなることを防ぐために換気されていること。例えば、高さ 3 m、4x4 m の部屋 (総容積 48m³) の場合、空気交換率 (ac/h) は 3回/時 です。
- 温度 10 °C (50 °F) ~ 40 °C (104 °F)、相対湿度 5% ~ 85% (結露しないこと)。



警告

環境作業条件は、使用される色材の種類に厳密に関係します (塗料メーカーに情報を問い合わせてください)。上記の要件は、その機械にのみ有効です。

機械は熱源のそばに置いたり、直射日光に当てたりしないでください。また、湿気源も避けてください。機械は屋内でのみ使用してください。

2個のトップカバーを上部から取り外す際、十分な作業スペースが必要なため、機械の上は約40 cm [15.7"] のスペースを空けてください。

指定以外の環境条件 (第8.1章) は、機械に深刻な損害を招き、特に電子機器に重大な損害を引き起こす可能性があります。



危険

揮発性溶剤を含む色材を使用する場合、機械が設置されている部屋は広く、換気が良好でなければなりません。例えば、高さ 3 m、4x4 m の部屋 (総容積 48 m³) の場合、必要な空気交換率 [ac/h] は 3回/時 です。どのような種類の部品も機械に立て掛けたり、機械の近くに保管したりしないでください。

火花を発生させたり、火災の原因になる得る裸火や材料を使用しないでください。

機械近くでの喫煙は禁止されています。

4 輸送および取扱い

4.1 全般に適用する警告

これらの作業を担当する人は、次の個人用保護具を着用する必要があります。



機械的リスク保護手袋
(裂け、摩耗)



危険

人身傷害や物的損害を避けるため、機械を取り扱うときは細心の注意を払い、この章に記載されている指示に注意深く従ってください。



警告

梱包の取扱いは、資格のある担当者のみが適切な取り扱い装置を使用して行う必要があります。梱包の上に物を積み重ねないでください。



機械が壁の近くに設置されている場合、ケーブルがつぶれないよう、少なくとも10 cm (4") 空けてください。

4.2 開梱と設置

			1 x 13-14 mm 1 x 8 mm	機械をパレットに固定しているネジを外すために使用
--	--	--	--------------------------	--------------------------



危険

以下の手順は、少なくとも2人で実行してください。

梱包材は将来の使用に備えて保管するか、現在の規制に従って廃棄してください。いずれの場合も、機械の全保証期間中は、梱包を保管しておくことをお奨めします。

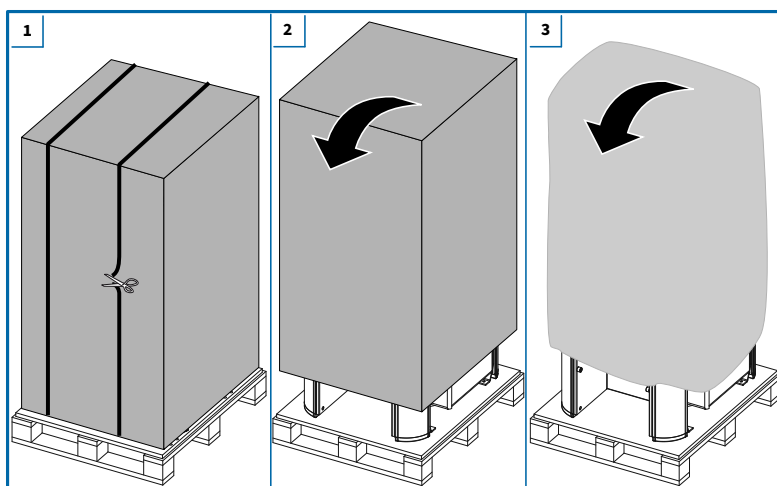
輸送中に梱包が損傷していないこと、あるいは不正に手を付けられていないことを確認してください。そのような状態が確認された場合は、認定技術サービスまたは販売店にお問い合わせください。

1. 梱包の周りにまかれているストラップを切断します。
2. 段ボール箱を取り外します。
3. 機械のラッピングを取り外します。機械の付属品をすべて取り出します。

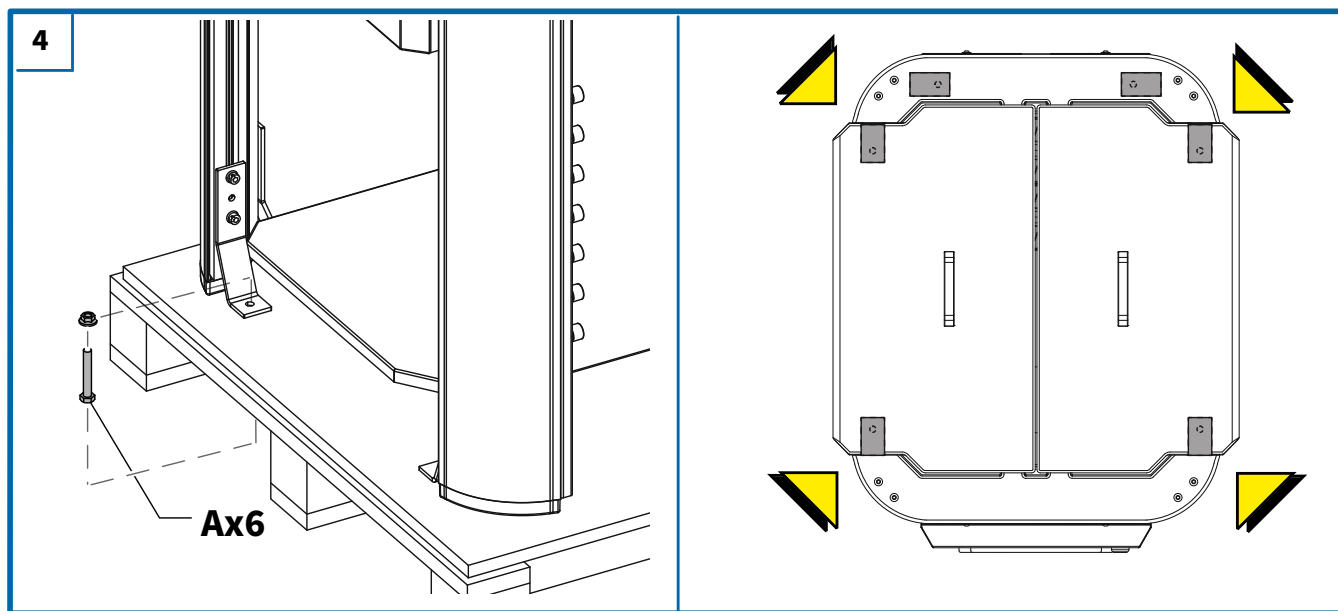


危険

輸送中に機械が損傷したと思われる場合は、使用せず、認定技術サービスまたは販売店にご連絡ください。



4. 機械をパレットのベースに固定している6本のネジAを取り外します。

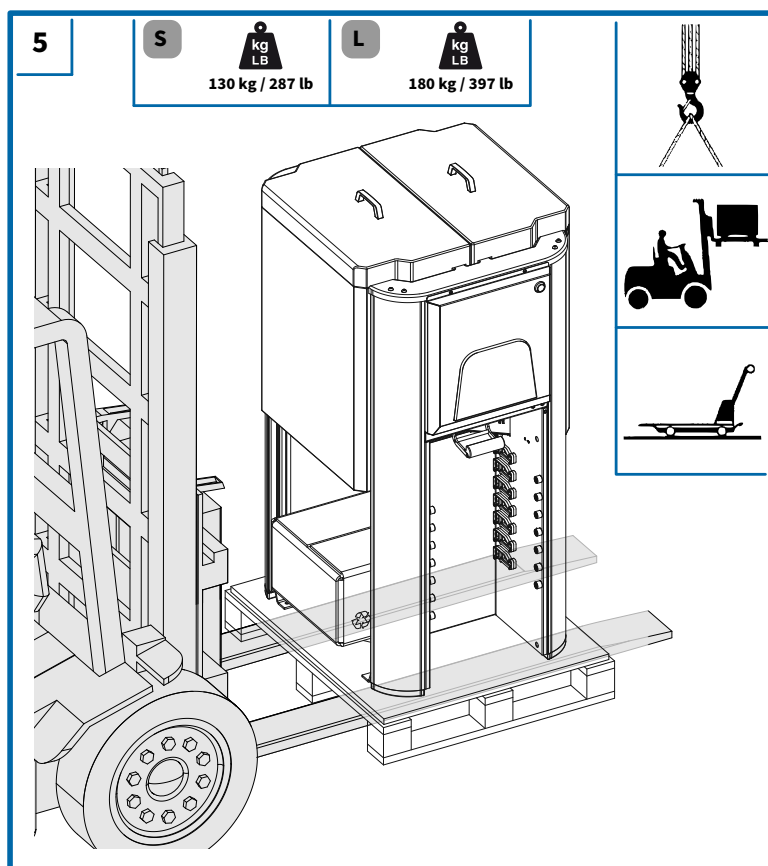


警告

機械を持ち上げて位置決めするには、適切な持ち上げ装置のみを使用してください。最適な持ち上げ装置は、機械の重量に基づいて選択してください (第8章)。

5. 適切な吊り上げ装置を使用して機械をパレットから取り外し、機械を作業位置に置きます。

6. 機械に台を挿入します。



機械を再梱包するには、開梱と逆の手順を行ってください。機械を移動または輸送する必要がある場合は、元の梱包を再利用することをお勧めします。

4.2.1 標準付属品

機械を開梱したら、次のものが同梱されていることを確認してください:

1. 電源ケーブル
2. コンピュータの電源ケーブル
3. USBケーブル
4. ユーザーマニュアルおよび製品文書
5. スペアパーツ

発注書に明記されたオプションによっては、以下が含まれる場合があります。

- 管理ソフトウェア
- 機械に設置する付属品

上記の付属品がすべて同梱されていることを確認してください。 そうでない場合は、製造元に問い合わせてください。

4.3 保管

機械を保管する場合は、適切な温度と湿度を保ち、ほこりから保護された安全な環境に保管する必要があります。

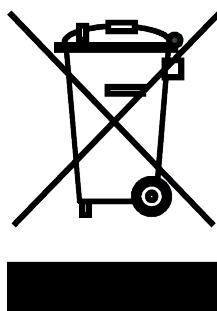
4.4 廃棄およびリサイクル

この機器は、分別されていない一般廃棄物と一緒に処分してはなりません。分別収集を行ってください。

WEEE 指令に従い、廃電気電子機器 (WEEE) の収集、処理、再生および環境に配慮した廃棄は、指令を実施する各 EU 加盟国の国内措置に従って実行されるものとします。

機械を構成する部品は、その材質 (プラスチック、鉄など) によって分別してください。

キャニスター内に残っている色材、色材で非常に汚れた機械コンポーネントの場合や、特別な廃棄手順が必要な製品が機械で使用されている場合、廃棄物を廃棄する際に地域の規制に従ってください。



5 機械の始動

5.1 全般に適用する警告

これらの作業を担当する人は、次の個人用保護具を着用する必要があります。



機械的リスク保護
手袋（裂け、摩
耗）



危険

ユーザーは、障害発生時に自動的に介入する RCD (残留電流装置) 保護装置を備えた TN または TT 電源システムにマシンを接続する必要があります。

本機械は必ず接地する必要があります。機械を電源に接続する前に、電源システムの接地を確認してください。

機械の電源に延長コードを使用しないでください。

コンピュータ、およびシリアルライン経由でマシンに接続されている、あるいはコンピュータ自体に接続されているその他の装置は、等電位電源ネットワーク、または補助ソケット（オプション、装備されている場合）から電源を供給する必要があります。

コンピュータ、ラベルプリンター、キャリブレーションスケール以外の装置を補助ソケットに接続しないでください。

補助ソケットの最大許容電力吸収量（オプション）：

- 110Vで動作する機械、または230Vで動作するETL認定機械は3A
- 230Vで動作する機械は6A (ETL認定機械を除く、上記参照)

機械に電力を供給するソケットには、他の機器を接続するためのマルチソケットを使用しないでください。

警告

識別プレートに記載されている仕様以外の電源から機械に電力を供給しようとししないでください。

電源プラグが抜かれると、機械は電源供給から遮断されます。従って、アクセスしやすい主電源コンセントの近くに設置する必要があります。

コンピュータなど、シリアルポートを介して機械に接続されている機器の電源は、等電位（アースへのアクセスポイントは一つ）でなければなりません。電位差により、干渉が発生したり、シリアルポートが破損したりするためです。

5.2 接地方法 (ETLバージョンのみ)

付属の電源ケーブルの導線は以下のように色付けされています。

- 緑/黄色 = 接地
- 白 = 中性
- 黒 = ライン

危険

本製品は必ず接地する必要があります。電気ショートが発生した場合、接地されていると電流の逃げ道が確保されるため、感電の危険が低減されます。本製品のコードには、適切なアースプラグが付いたアース線が装備されています。プラグを差し込むのは、地域の規則および条例に従って適切に設置、アース接続されたコンセントでなければなりません。

アースプラグの不適切な使用により、感電の危険が発生します。コードまたはプラグの修理や交換が必要な場合、アース線をどのフラットブレード端子にも接続しないでください。黄色のストライプの有無にかかわらず外側の表面が緑で、絶縁体付き配線はアース線です。

接地方法を完全に理解したのか、それとも製品を適切に設置したかどうか疑問があるのかどうかを有資格電気技術者およびサービス担当者と一緒に確認してください。付属のプラグは改造しないでください。コンセントに取り付けられない場合は、有資格電気技術者に適切なコンセントの設置を依頼してください。

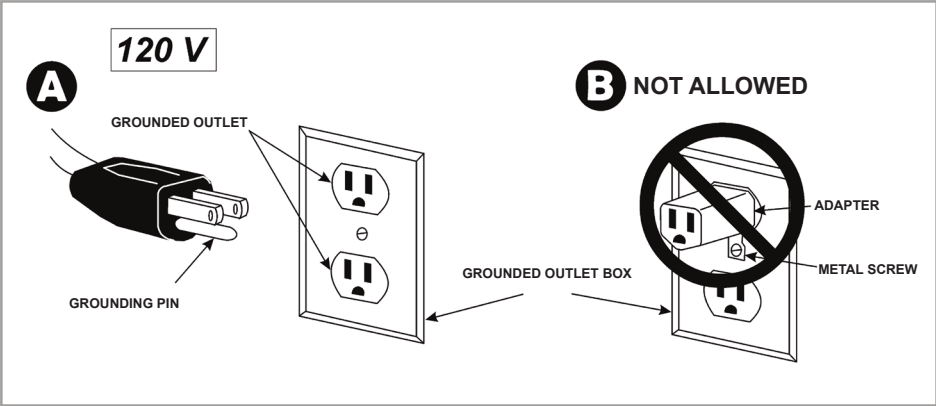
最大120 Vの電圧供給

本製品は、公称120 Vの回路で使用するもので、図に示すプラグに似たアースプラグを備えています。

適切に接地したコンセントがない場合、2極アダプターにこのプラグに接続するのに図 (B) に示すアダプターに似た一時的なアダプターを使用することができます。有資格電気技術者がコンセント (A) を適切に接地して据え付けるまでの間のみ、一時的なアダプターを使用することができます。

アダプターから伸びる緑色の硬質タブ、ラグ、または類似の部品は、適切に接地されたコンセントボックスカバーなど、永久アースに接続する必要があります。

アダプターを使用する場合は、必ず金属製のネジで所定の位置に保持しなければなりません。



120 Vを上回る電圧供給

本製品は、公称定格が120 Vを上回る回路で使用するもので、適切な電気回路への接続用の特殊電気コードおよびプラグが工場出荷時に装備されています。

プラグと同じ構成のコンセントにのみ製品を接続してください。本製品と一緒にアダプターを使用しないでください。

製品を様々な種類の電気回路で使用するために再接続しなければならない場合、再接続は有資格サービス担当者が行わなければなりません。

延長コード



警告

製造元は、本機器では延長コードを使用しないように強く推奨しています。

3ピンアースプラグ、製品のプラグを受け入れる3つ穴コンセントのある3線延長コードのみ使用してください。お使いの延長コードが良好な状態であることを確認してください。

延長コードを使用する際、お使いの製品が消費する電流を十分に流せるものを使用してください。長さが25フィート未満の場合、18 AWGの延長コードを使用してください。

小さいサイズのコードでは、ライン電圧が急に下がり、電源喪失および過熱の原因となるおそれがあります。

注記 - 以下の表には、コードの長さおよび銘板に記載された公称アンペアに応じて使用するサイズの正しい電流サイズを示します。疑問がある場合は、次に重いゲージを使用します。ゲージ番号が小さくなればなるほど、コードは重くなります。

アンペア 公称範囲	電圧	コードの長さ (フィート : ft)								
	120V	25 ft.	50	100	150	200	250	300	400	500
	240V	50 ft.	100	200	300	400	500	600	800	1000
0 - 2		18	18	18	16	16	14	14	12	12
2 - 3		18	18	16	14	14	12	12	10	10
3 - 4		18	18	16	14	12	12	10	10	8
4 - 5		18	18	14	12	12	10	10	8	8
5 - 6		18	16	14	12	10	10	8	8	6
6 - 8		18	16	12	10	10	8	6	6	6
8 - 10		18	14	12	10	8	8	6	6	4
10 - 12		16	14	10	8	8	6	6	4	4

12 - 14	16	12	10	8	6	6	6	4	2
14 - 16	16	12	10	8	6	6	4	4	2
16 - 18	14	12	8	8	6	4	4	2	2
18 - 20	14	12	8	6	6	4	4	2	2

5.3 管理コンピュータ

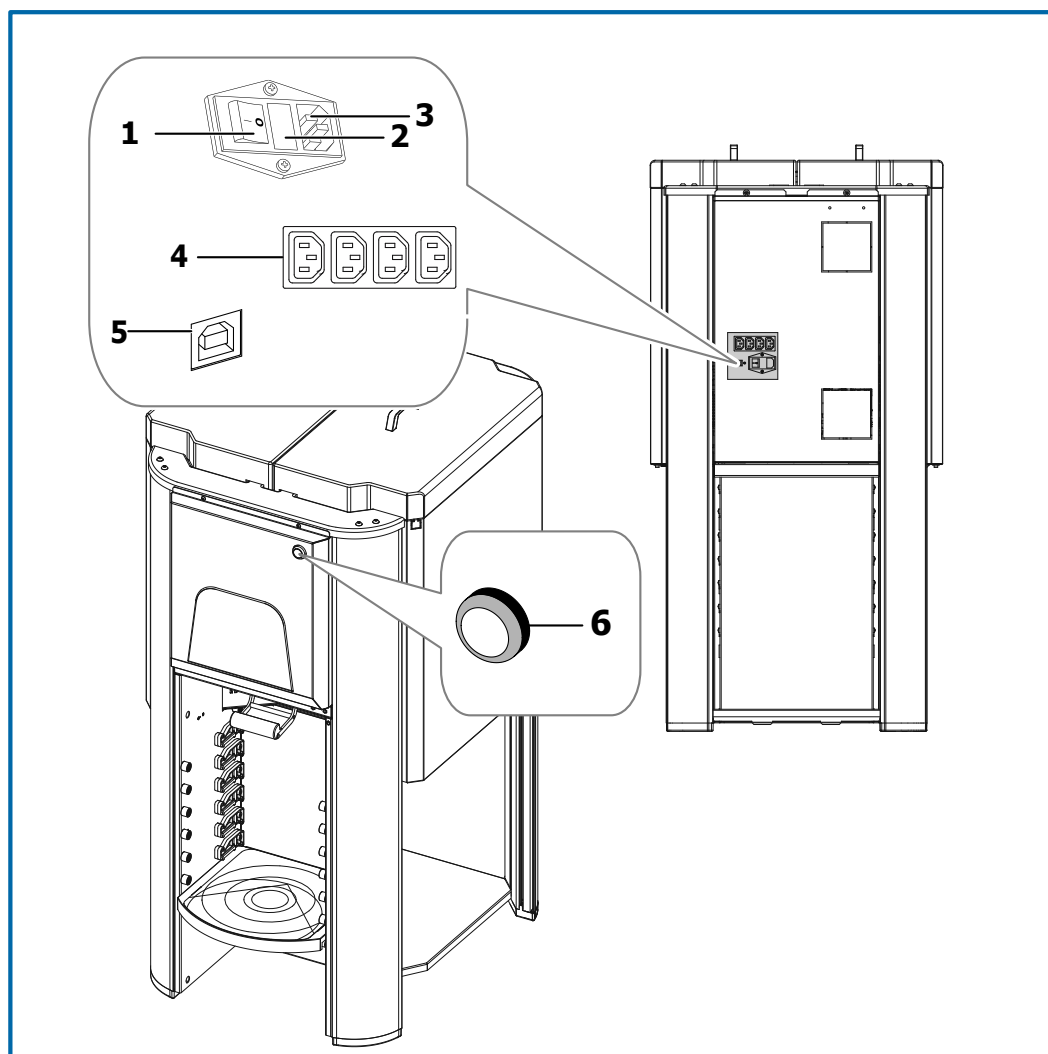
デispenserはコンピュータが制御します。製造元は、機械のすべての機能を制御する幅広いソフトウェアアプリケーションの提供も可能です。

機械にCOROB Connectが装備されている場合、AndroidまたはWindowsのタブレットデバイスと対応する吐出ソフトウェアを介して操作することができます。

コンピュータ接続、管理ソフトウェア、およびシステムコンフィグレーションを含め、機械へのすべての組み込みは、専門の保守技術者が実行しなければなりません。

5.4 制御装置および接続

1. 機械メインスイッチ
2. ヒューズボックス - ヒューズ定格は技術仕様表 (第8.1章) に示されています。
3. メインプラグ
4. 補助ソケット - コンピュータおよび他の機器 (キャリブレーションスケールやラベルプリンター) への電源供給
5. USBシリアルポート - 管理コンピュータへの接続用。
6. ONランプ付きオフラインボタン - 機械をシャットオフさせずに機能を中断させます。



5.5 オフラインボタンの使用

ONランプの状態によって、機械が次のような状態であることがわかります。

ONランプの状態	機械の状態	意味
オフ	オフ	機械はオフです。
オン	オンライン	機械はオンで、コンピュータとの通信待機中です。
高速点滅	オフライン (スライディングオート キャップを使用する場 合のみ)	オートキャップが開いており、機械の機能は中断さ れ、コンピュータからのコマンドは拒否されます。

オフラインボタンを押すと、機械のすべての機能が中断されます。ONランプが点滅し、機械はオンであるが機能がブロックされていることを表します。これらの条件では、コンピュータからのあらゆるコマンドが拒否されます。

機械の機能が中断されると、キャニスターへの補充が可能になります。ONランプの状態によって、機械が次のような状態であることがわかります。

機械の初期の状態	オフラインボタンを押す 時間	機械の最終的な 状態	ONランプ
オフライン	一瞬	オンライン	オン
オフライン	数秒	オフライン	高速点滅
オンライン			
オフライン	数秒	オンライン	オン
オフライン (スライディングオート キャップを使用する場 合のみ)	一瞬	オフライン	高速点滅

ソフトウェア経由でリセットコマンドを送信すると、機械のオフラインの状態からオンラインの状態に回復させることもできます。



警告

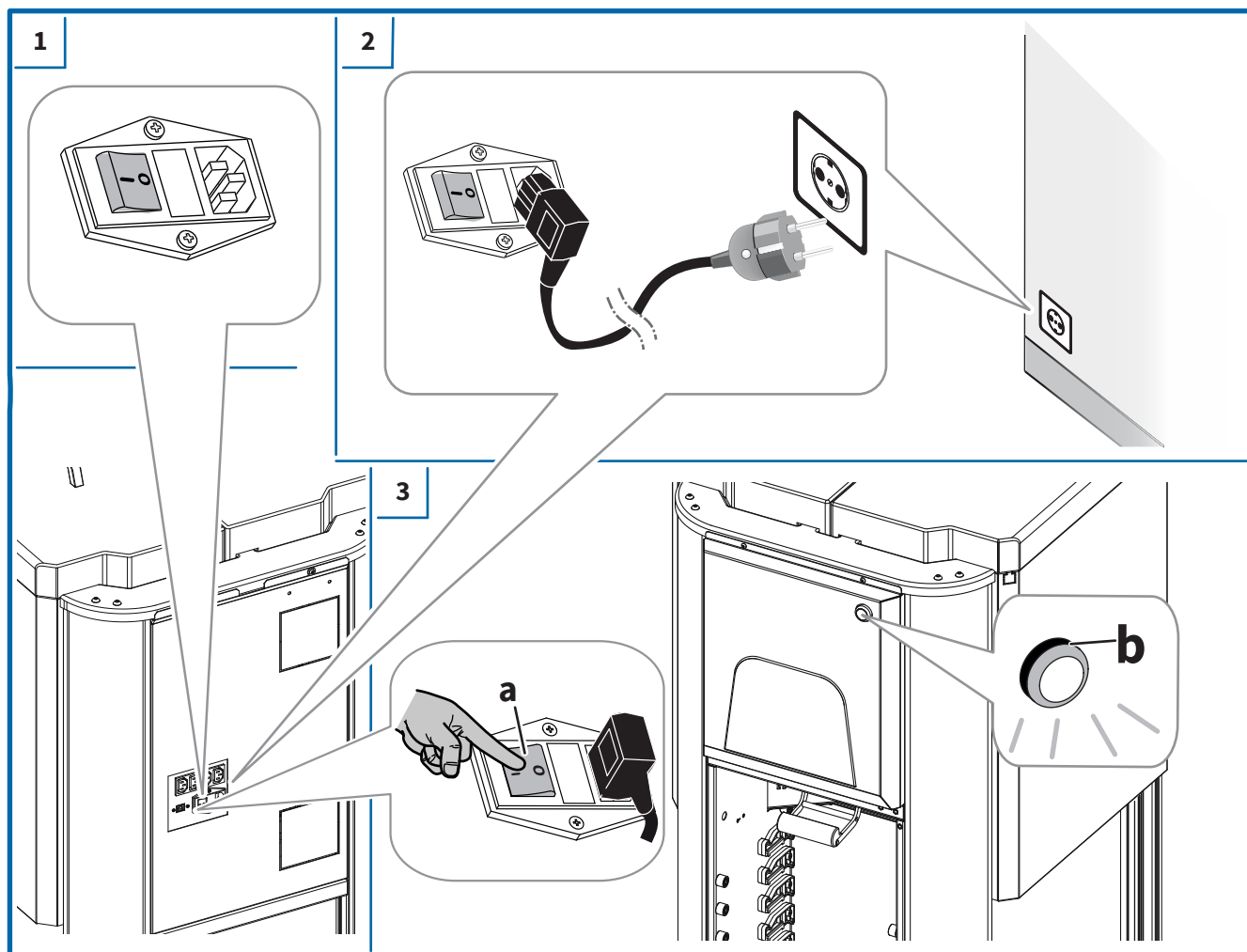
調合を吐出中にオフラインボタンを押すと、吐出が中断されます。

中断された調合のリカバリー機能、つまり調合を完了させるのに必要な量の吐出を再開させる機能は、吐出プログラムがこの機能に対応している場合にのみ有効になります。

5.6 電気接続および電源投入

 コンピュータおよびモニターがオンにならない場合、電源ケーブルが電源ソケットに適切に接続されていること、および対応するスイッチがオンになっていることを確認してください。

 ソフトウェアが起動すると、機械を使用できるようにする目的で一連の手順の実行がオペレーターに要求されます。これらの手順は、使用する管理ソフトウェアの種類によって異なります。



5.7 シャットダウン



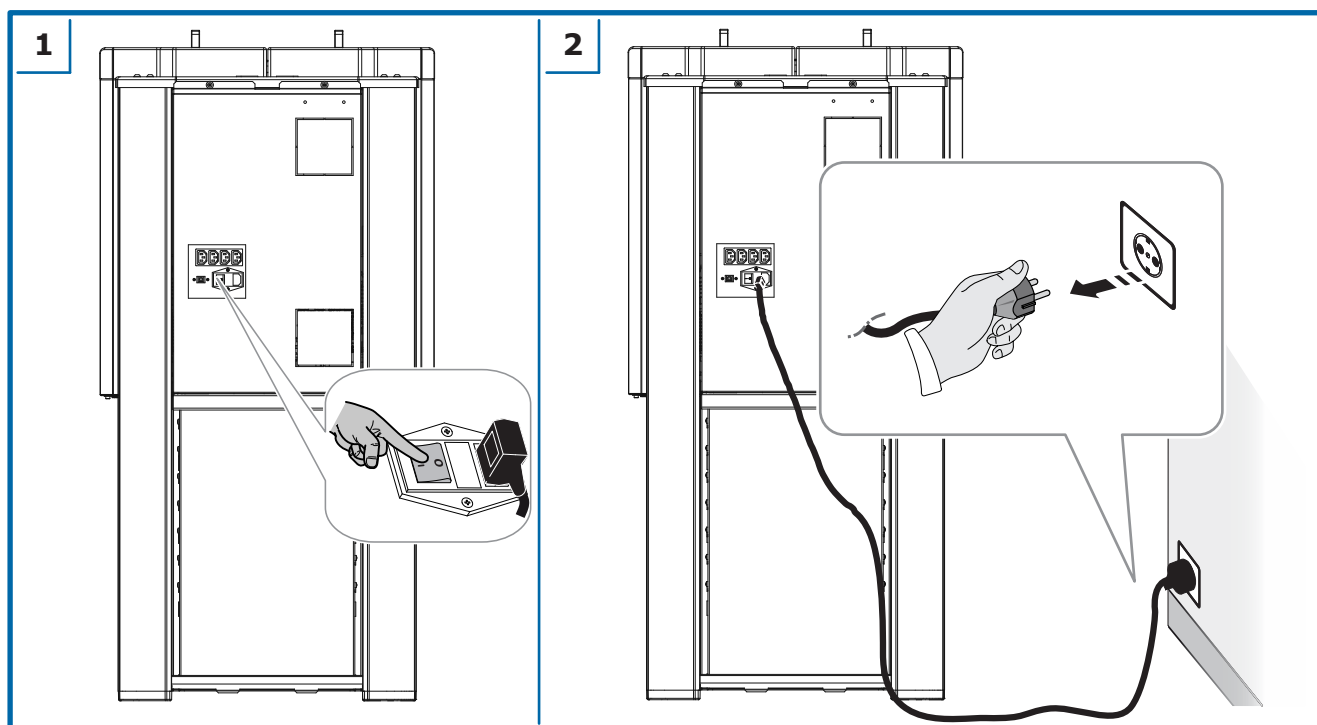
警告

機械を絶対にシャットダウンしないでください。自動タイマー機能により色材が均一な状態で保存されるようにするため、これは業務時間外にも適用されます。

機械をシャットダウンする必要がある場合は、長期間オフのままにしないでください。機械を使用しないときは、コンピュータのみをシャットオフしてください。



機械を使用していない時、あるいは攪拌サイクル中に使用される電力は非常に低いです。



6 ディスペンサーの使用

6.1 全般に適用する警告

これらの作業を担当する人は、次の個人用保護具を着用する必要があります。



機械的リスク保護手袋
(裂け、摩耗)



危険

機械は 1 人のオペレーターが使用する必要があります。動作中に機械の部品に手を伸ばしたり触れたりできる許可のない人は、その場にいることが禁じられています。

保護装置を用いずに機械を使用することや、機械に装備されていた安全装置を無効、分解あるいは取り外して機械を使用することは禁じられています。パネルは常時必ず閉じておいてください。

缶の積み下ろしの場合を除いて、理由の如何を問わず、機械が作動している間は、手を吐出エリアに置かないでください。

缶を取り扱うときは、現在施行されている規制で規定されている重量制限を超えないようにしてください。

示されている一連の操作に関して、次の章で説明する単一の手順を実行します。これにより、機械の正しい使用が保証され、オペレーターのリスクが軽減し、機械自体の損傷が回避されます。

6.2 一日の仕事の始まりに

各シフトが開始されるときに、以下の作業を必ず行ってください。

- ノズルセンターが汚れていないことを確認してください。
- (水性色材用加湿装置を使用している場合) 採水器内の水が最小レベルを下回っていないことを確認してください。
- システムのページを実行してください。

6.3 機械の稼働

オペレーターは、実行する手順、および機械が行うアクションを表示する管理ソフトにより、機械を稼働させるように誘導されます。

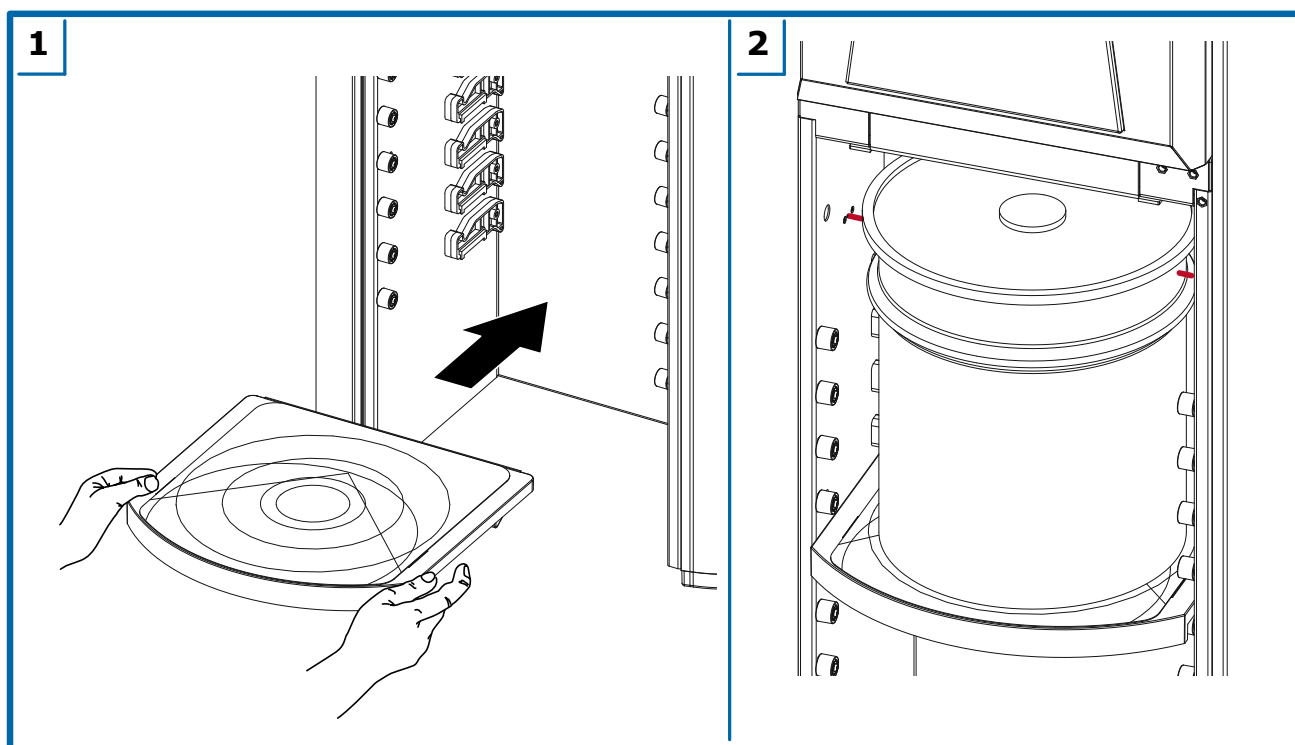
ステップ	参照
管理ソフトウェアから選択します (製品、調合、缶サイズの選択)。	
手動調整可能な台の配置	第6.3.1章
台に缶を置き、吐出センターに対する位置を調整します。	第6.3.1章
ソフトウェアを介し、調合吐出コマンドに入ります。	第6.3.2章
吐出が終了したら、缶を取り外し、別の吐出プロセスに進みます。	

6.3.1 缶の台の高さの調整、および缶の位置調整

7. 手動調整可能な台を指定のスロットに挿入します。スロットは使用する缶のサイズによって異なります。

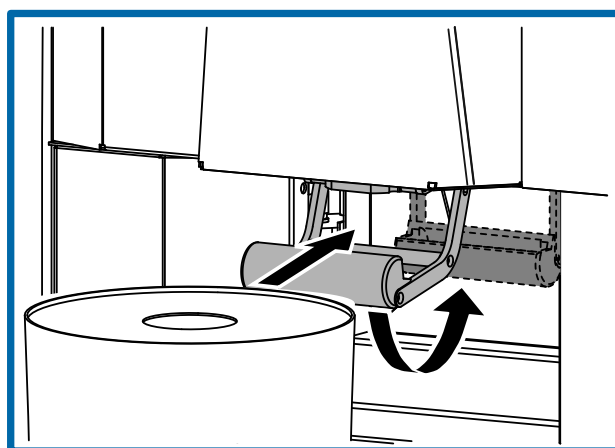
危険

重量が 35 kg (77 lb) を超える缶を台に載せないでください。台の上に登ったり、腰かけたりしないでください。台をはしごとして使用しないでください。



8. 缶を台に乗せ、フォトセルAが覆われることを確認します。

回転キャップ付き	スライディングオートキャップ付き
キャップオープニングバーを内側に押すように缶を配置し、キャップが開くようにします。	フォトセルAが確実に覆われるように缶を置きます。



6.3.2 吐出

吐出コマンドを入力すると、自動キャップが開いてノズルが現れます。機械は調合に含まれる製品を設定した量だけ吐出し始めます。吐出が終了すると、キャップは自動的に閉じます。
吐出システムは、機械のバージョンによって異なります。

6.4 攪拌の自動タイマー

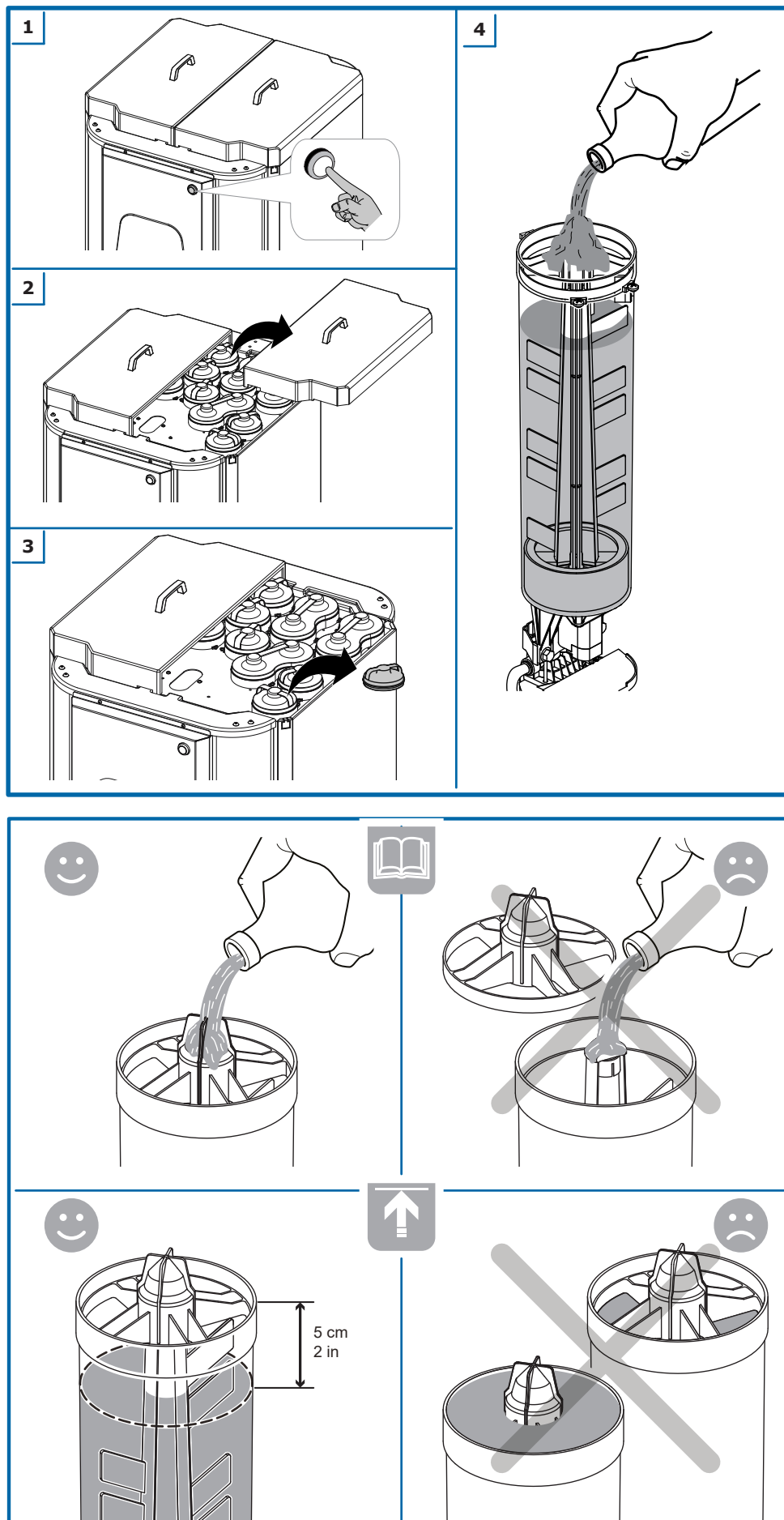
色材の攪拌は時間が決まっているプロセスで、自動的に起動し、製品をキャニスターに適切に保管し、キャニスター内の攪拌パドルの動きにより吐出に理想的な均一の状態に維持します。

攪拌の持続時間、および攪拌サイクル終了から次のサイクル開始までの間隔は、機械で使用する製品の性質に合わせて設定ソフトウェアでカスタマイズ可能です (ユーザーマニュアルを参照)。

 キャニスターはそれぞれの蓋で閉じておくことを推奨します。また、色材が入っていない状態であっても、キャニスター内には手を入れないでください。

自動プロセスが進行中の場合、機械をまだ使用できます。プロセスは保留になり、機械が休止してから数秒後に再開されます。

6.5 キャニスターの再充填



1. オフラインボタンを押します (第5.5章)。
2. 機械の右上の装飾用色材補充用力バー、および左上の溶剤色材補充用力バーを外します。
3. キャニスターの蓋を取り除き、補充します。

 キャニスターに手動で入れる色材の容器を振とうさせます。自動シェーカーは使用しないでください。

4. 採水器のドレインシステムが正しく配置されていることを確認してください。その後、キャニスターに希望の色材をボトルドレイナーに直接注いで追加し、色材が飛び散ったり、エアエマルジョンが生成されるのを防ぎます。



警告

色材が攪拌システムのシャフトからこぼれないようにするため、補充中はボトルドレイナーを取り外さないでください。色材のレベルは、キャニスターの上端から5 cmのところにある最高レベルを絶対に超えてはなりません。色材がこぼれると、回路のポンプユニットがブロックされる原因になります。

機械に可燃性の高い液体を入れないでください。揮発性溶剤を含む色材を使用する場合は、第3.5章「設置場所の要件」の指示に従ってください。

5. キャニスターに対応する蓋をして閉じます。
6. 上記のステップを繰り返し、他のキャニスターも充填します。
7. 機械の上部力バーを閉じ、オフラインボタンを離して機械を元の状態に戻します (第5.5章)。
8. 機械管理ソフトウェアで補充したキャニスターの色材のレベルを更新します (ソフトウェアのユーザーマニュアル参照)。



警告

不適切な操作でキャニスターに色材を充填しすぎた場合：

- 色材が機械内部に流れた場合、清掃しようとししないでください。すぐに機械の電源を切り、認定サービスセンターにご連絡ください。
- 反対に製品がキャニスターの外にすでに流れている場合は、機械をすぐに停止させ、紙または湿らせた布で清掃してください。可能な場合は、色材を放置させて乾かし、スパチュラで除去してください。
- 製品がキャニスターの縁からあふれ出ていない場合は、キャニスターの蓋を閉めず、最適レベルに達するまで過剰な色材を直ちに吐出させる必要があります。蓋を閉める前に、キャニスターの上端の縁を紙または湿らせた布で丁寧に清掃してください。

機械の清掃に水や溶剤ベースのクリーニング剤を絶対に使用しないでください。刺激の強いクリーニング液を使用すると、コンポーネントおよび外部パネルの塗装が損傷するおそれがあります。

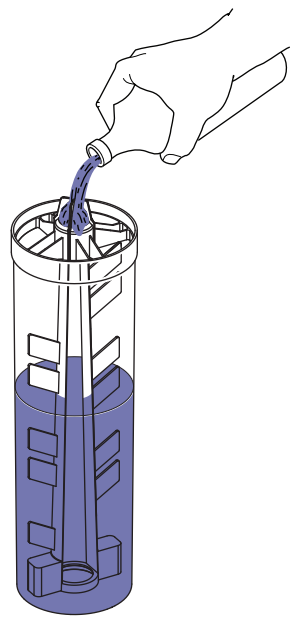


警告

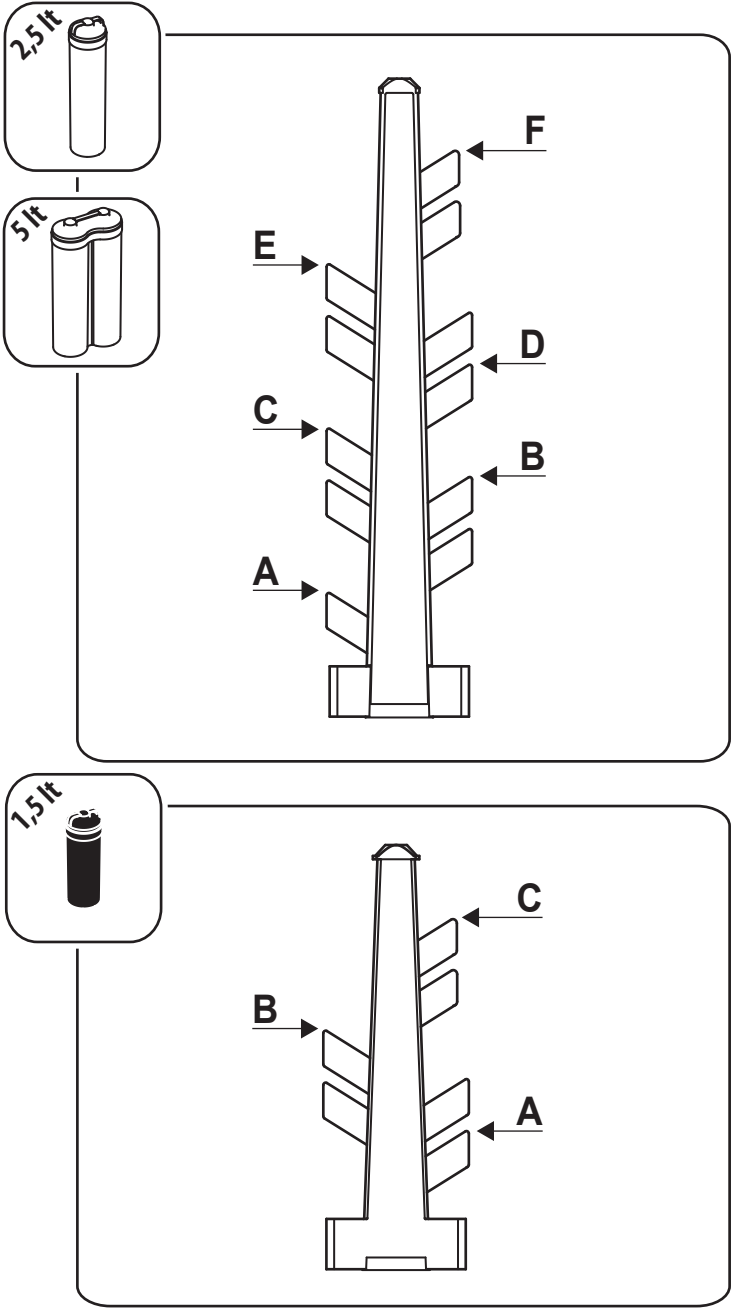
キャニスター内の色材レベルの更新を怠ると、生成される色合いの精度が損なわれたり、さらには機械のキャニスターおよび回路が空になってしまうおそれがあります。

補充後は、管理ソフトウェアの付属機能を使って攪拌プロセスを実行し、色材に乳化されたり、吸収されたりするおそれのあるエアを除去することをお勧めします。

以下は、キャニスターに充填する際に参考にするダイアグラムです。



	A	B	C	D	E	F
 2.5lt	lt 0,5	1	-	1,5	2	2,5
	qt 0.5	1.1	-	1.6	2.1	2.6
 5lt	lt 1	2	2,5	3	4	5
	qt 1.1	2.1	2.6	3	4.2	5.3
 1.5lt	lt 0,5	1	1,5	-	-	-
	qt 0.5	1.1	1.6	-	-	-



6.6 トラブルシューティング

問題	原因	解決法
機械の電源がオンにならない。	電源が供給されていない。	機械背面の接続を点検してください (第5.4章)。
	メインスイッチがOFFの位置 (O) にある。	メインスイッチをONの位置 (I) にセットしてください (第5.6章)。
	一つまたは複数のヒューズが切れている。	ヒューズボックス内の切れているヒューズを交換してください (第5.4章)。
	電源ユニットが過電流状態である。	数分待ってから、機械を再起動させてください。問題が解決しない場合、認定技術サービスにご連絡ください。
	電気接続に欠陥がある。	認定技術サービスにお問い合わせください。
管理ソフトウェアに通信プロトコルのエラーが表示される。	機械がオフになっている。	機械をオンにし (第5.6章)、管理ソフトウェアを再起動させてください。
	機械とコンピュータが接続されていない。	機械背面の接続を点検してください (第5.4章)。
	コンピュータのシリアルポートまたはUSBポートのコンフィグレーションが間違っているか、欠陥がある。	コンフィグレーションおよびキャリブレーションソフトウェアを使用し、機械との通信に使用するポートを正しく設定したことを確認してください。
		コンピュータのシリアルポートまたはUSBポートを修理してください。
	シリアルケーブルが破損している。	製造元の純正スペアパーツを使用し、通信ケーブルを交換してください。
	接続に欠陥がある。	認定技術サービスにお問い合わせください。
いくつかのノズルから色材が漏れる。	ポンプユニットのバルブが正常に機能していない。	管理ソフトウェアを介して、該当するポンプユニットから色材約100 cc吐出させてください (第6.3章)。問題が多く回路にまたがっている場合は、一度に一つの回路で上記の作業を繰り返し、吐出された色材をリサイクルできるようにします。 問題が解決しない場合、認定技術サービスにご連絡ください。
ONランプが点滅し、機械がコマンドを拒否する。	オフラインボタンが押された。	オフラインボタンを解除し、機械の稼働を回復させてください (第5.5章)。
ONランプが高速で点滅し、機械がコマンドを拒否する。	オートキャップが開いており、機械がオフライン2の状態にある。	オートキャップを閉じ、オフラインボタンを使って機械をオンライン状態にしてください (第5.5章)。

7 日常の保守作業

7.1 全般に適用する警告

これらの作業を担当する人は、次の個人用保護具を着用する必要があります。



機械的リスク保護手袋
(裂け、摩耗)



危険

保守作業を実行する前に、機械の電源を切り、主電源ソケットのコンセントから電源ケーブルを抜く必要があります。

機械の保守作業中は、着色製品と接触する危険性が高くなります。第3.2章の指示に厳密に従ってください。

7.2 保守表

警告

記載されている頻度はおおよそのものです。色材の種類、環境条件、機械の使用頻度によって異なるためです。

作業	付属品	頻度		
		シフト開始時	週2回	必要な時
機械のパージ		✓		
ノズルセンターのクリーニング		✓		
スポンジがきれいであるか点検		✓		
スポンジが飽和しているか点検	加湿装置 (溶剤) または加湿装置なし	✓		
スポンジを湿らせる	加湿装置 (溶剤) または加湿装置なし		✓	
スポンジのクリーニング			✓	
ディスペンサーの外側のクリーニング				✓
加湿装置の採水器の充填	加湿装置 (水)			✓

7.3 使用する製品

ノズルセンターのクリーニングの際や、加湿装置のキャップのスポンジを湿らせる際は、機械内にある色材の種類に対応する製品を使用してください。

色材の種類	推奨製品
溶剤ベースの色材	ゆっくり蒸発する溶剤 (使用する色材に対応していること)
水性色材	水
混合システム	色材の製造に使用される機械の種類に応じて選択してください。詳しい情報につきましては、販売店または色材の製造元にお問い合わせください。

キャップ、スポンジ、加湿装置の採水器に汚れが堆積する場合は、以下の液体を使用してみてください。

- 50% (体積比) プロピレングリコール水溶液
- AgCl水溶液
- 漂白剤 (1%希釈液)

7.4 機械外部の洗浄



警告

機械の清掃に水や溶剤ベースのクリーニング剤を絶対に使用しないでください。刺激の強いクリーニング液を使用すると、コンポーネントおよび外部パネルの塗装が損傷するおそれがあります。

色材が機械内部に流れた場合、清掃しようとししないでください。すぐに機械の電源を切り、認定サービスセンターにご連絡ください。

塗料がこぼれた場合は、機械を直ちに清掃してください。

1. 電源を切ります (第5.7章)。
2. 機械のカバーやパネル、制御装置から汚れやチリ・ホコリ、またシミなどを取り除く一般的な清掃が推奨されます。その場合には、やわらかい布を乾いたままで、あるいは中性洗浄剤で軽く湿らせて掃除します。

3. 電源を接続し、機械のスイッチをオンにします (第5.6章)。

コンピュータのクリーニングの方法につきましては、製造元のマニュアルを参照してください。

7.5 ノズルセンターの清掃 (加湿装置のキャップ)

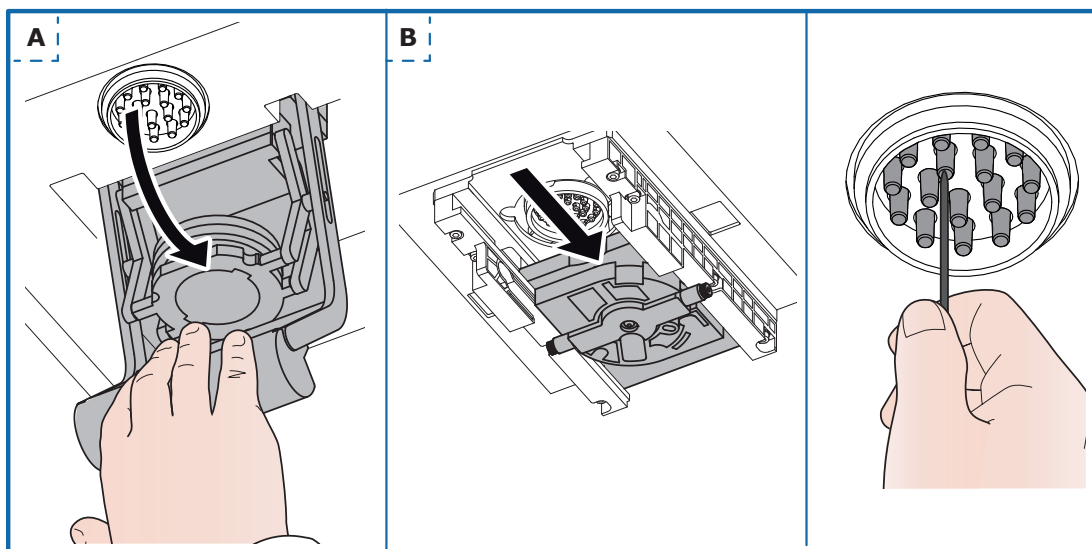


回転キャップ:

1. 電源を切ります (第5.7章)。
2. 手でオープニングバーを内側に押し、キャップを開きます。
3. 鋭い器具を使用し、ノズルを丁寧に清掃します。回路の端を損傷させないように、乾いた色材の残留物を丁寧に取り除きます。
4. キャップを閉じ位置に戻します。
5. 電源を接続し、機械のスイッチをオンにします (第5.6章)。
6. パージを行います。

スライディングオートキャップ:

1. オフラインボタンでオートキャップを開きます (オフライン) (第5.5章)。
2. 電源を切ります (第5.7章)。
3. 鋭い器具を使用し、ノズルを丁寧に清掃します。回路の端を損傷させないように、乾いた色材の残留物を丁寧に取り除きます。
4. 電源を接続し、機械のスイッチをオンにします (第5.6章)。
5. オフラインボタンでオートキャップを閉じます (オンライン) (第5.5章)。
6. パージを行います。

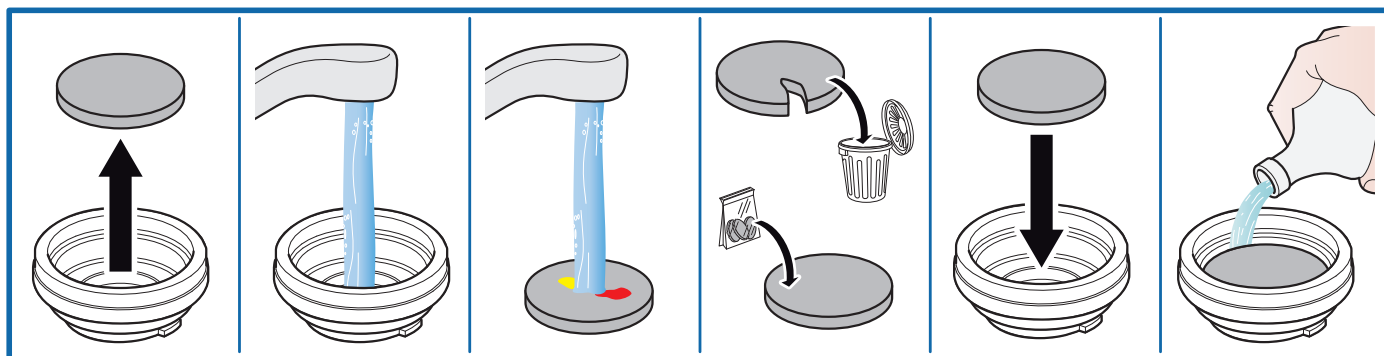
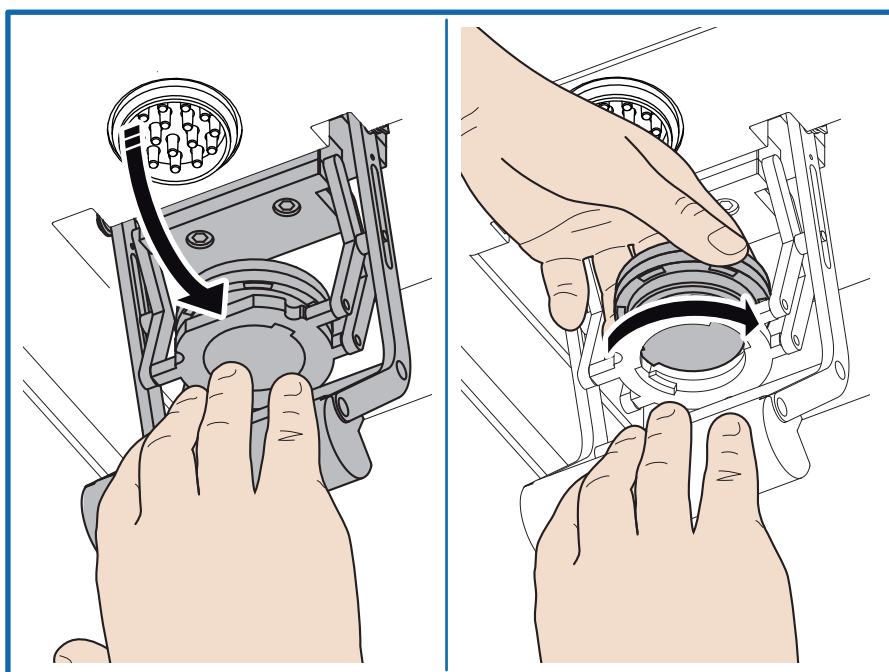


7.6 スポンジを清掃し、湿らせる (加湿装置のキャップ)

 加湿装置のキャップのスポンジを交換する場合、機械と一緒に納入されたもののみを使用してください。

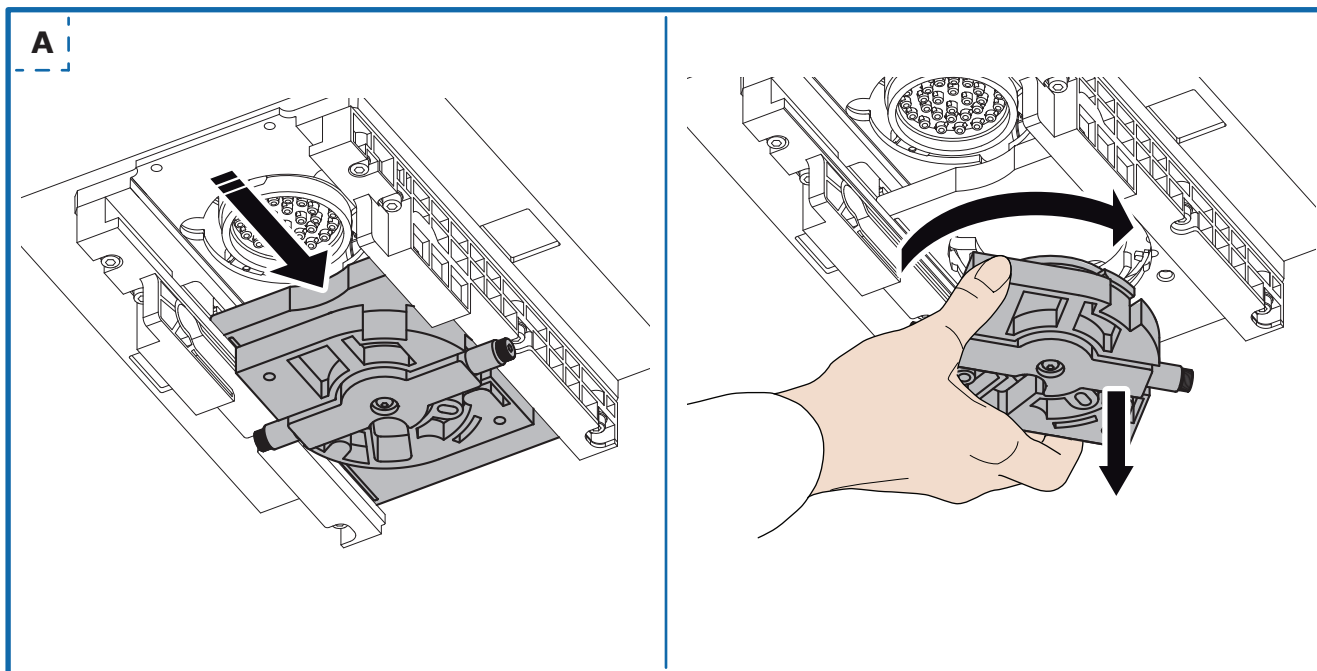
回転キャップ：

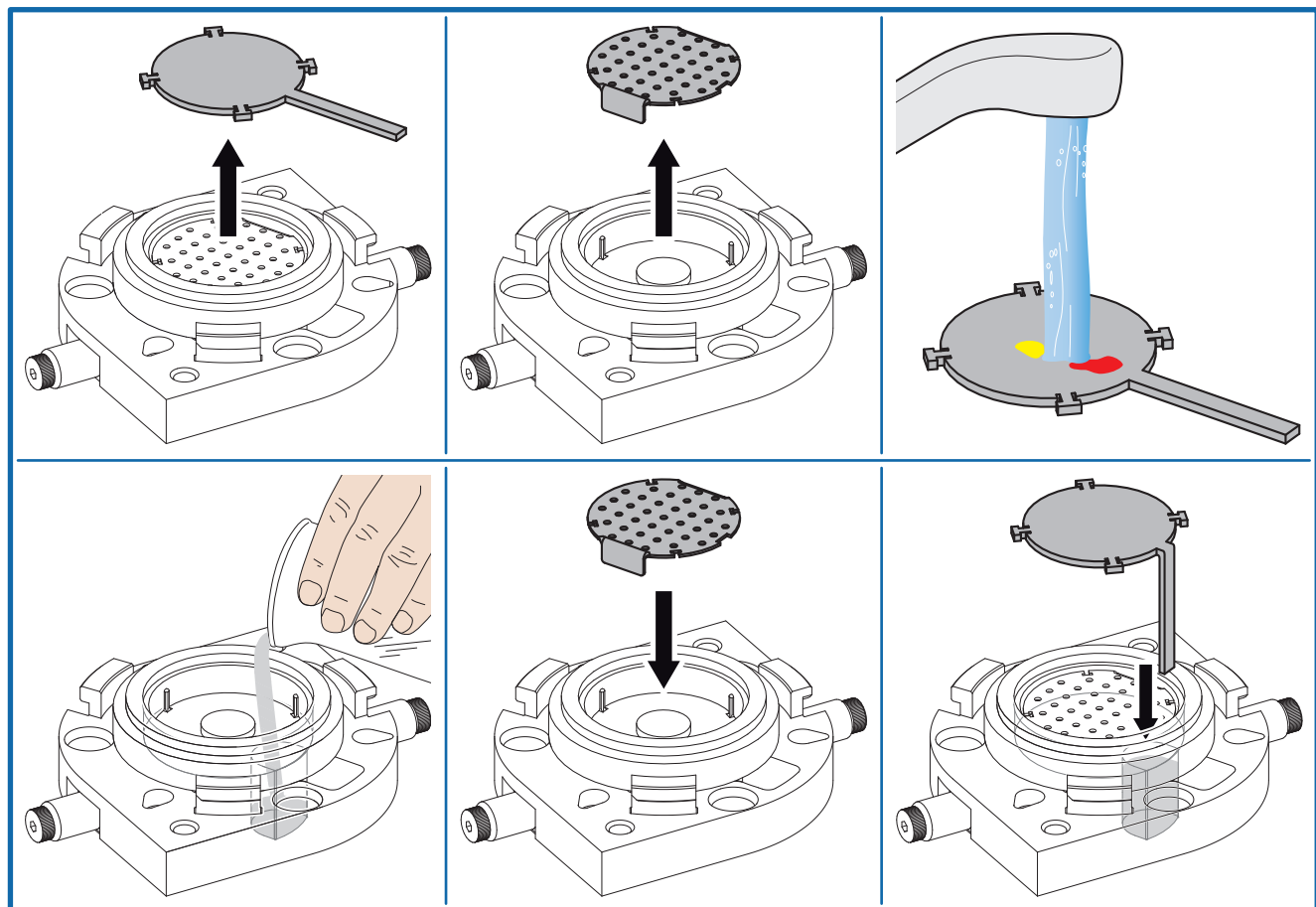
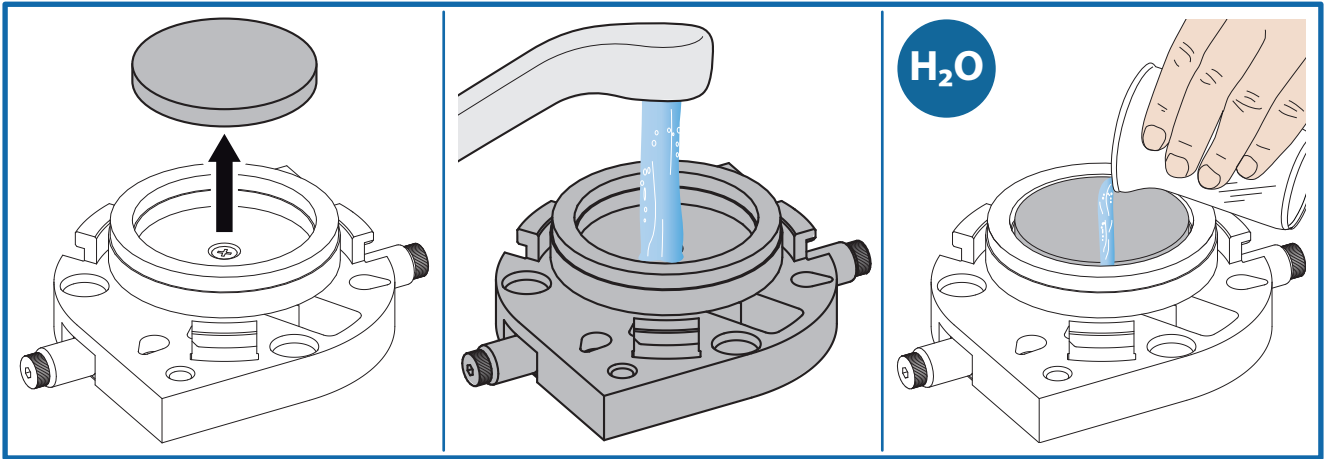
1. 電源を切ります (第5.7章)。
2. 手でオープニングバーを内側に押し、キャップを開きます。
3. スポンジ保持カップを緩め、取り外します。
4. キャップを閉じ位置に戻します。
5. スポンジ保持カップを洗い、スポンジの状態を確認し、必要に応じて湿らせます。加湿液のレベルは、スポンジの高さを超えてはなりません。汚れがひどい場合は、スポンジをキャップから外し、丁寧に洗います。スポンジの損傷がひどい場合は、交換してください。
6. キャップを手で開き、スポンジ保持カップを再度取り付けます。
7. 電源を接続し、機械のスイッチをオンにします (第5.6章)。



スライディングオートキャップ：

1. オフラインボタンでオートキャップを開きます (オフライン) (第5.5章)。
2. 電源を切ります (第5.7章)。
3. スポンジ保持用の蓋を緩め、取り外します。
4. 保持用の蓋を洗い、スポンジの状態を確認し、必要に応じて湿らせます。加湿液のレベルは、スポンジの高さを超えてはなりません。汚れがひどい場合は、スポンジをキャップから外し、丁寧に洗います。スポンジの損傷がひどい場合は、交換してください。
5. スポンジ保持用の蓋を締め付け直します。
6. 電源を接続し、機械のスイッチをオンにします (第5.6章)。
7. オフラインボタンでオートキャップを閉じます (オンライン) (第5.5章)。





7.7 加湿装置の採水器の再充填



警告

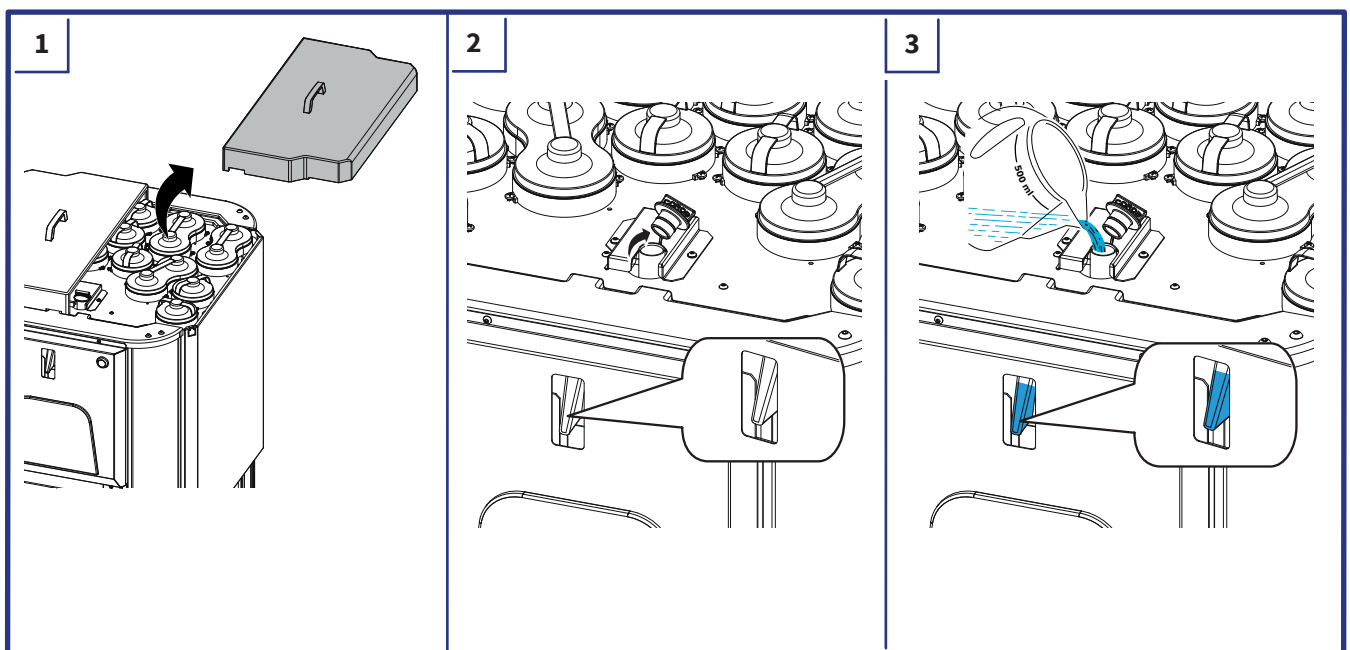
採水器内の水が最小レベルに達したら、直ちに補充してください。

1. 電源を切ります (第5.7章)。
2. 採水器が置かれている機械の上部のカバーを取り外します。
3. 採水器のキャップを外し、水を加えます (最大0.5リットル / 1パイント)。最大レベルを超えないように注意してください。



硬水による石灰が付着するリスクを低減させるため、蒸留水の使用が推奨されます。

4. キャップを戻し、しっかりと締め付けます。
5. 上部カバーを戻し、電源を接続し、機械のスイッチをオンにします (第5.6章)。



8 技術仕様

8.1 技術データ

電源 ^(a)		CE: 単相 100 - 240 V ~ ± 10% ETL: 単相 100 - 120 V ~ ± 10%
周波数 ^(a)		50/60 Hz
ヒューズ ^(a)		F 10 A
最大吸収電力 ^(a)		100 W [OD] 300 W [SIM]
騒音レベル ^(b)		等価音圧レベル : < 70 dB (A)
動作環境条件 ^(c)		温度: 10 °C (50 °F) ~ 40 °C (104 °F)
		相対湿度: 5% ~ 85%、結露なし
振動		機械は、付近にある機器の安定性および精度に影響を与えるおそれのある振動を床に伝えません。
キャニスター容量		1.5 (1.58 q) / 2.5 (2.64 q) / 5 (1.32 G)
キャニスター数		[S] 最大20個 [L] 最大32個
吐出技術		ペローポンプ
ノズルセンターの最大フロー径 ^(d)		39 mm (1.5") [最大20] 45 mm (1.8") [21 ~ 24/32]
吐出システム		● 同時オンデマンド ● 同時吐出
回路の流量		0.25リットル/分
エレクトロニクス		5G
吐出センター		内部
キャニスターの種類		多目的 (POM アセタール樹脂)
バルブの種類		メンブレンバルブ : Viton (水) - FFKM (汎用/溶剤)
 ^(e)	機械	[S] 145 kg (320 lb) [L] 200 kg (441 lb)
	梱包された機械	[S] 190 kg (419 lb) [L] 270 kg (595 lb)

^(a) 接続済みの補助装置を除く (オプションの補助ソケットナシの機械)。電力の情報は参考値であり、機械の構成によって異なります。機械のシリアル番号のラベルに機械の構成に即した正確な電力データが記載されています。

^(b) 実験室において測定され、製造元での該当するテストレポートに基づいて文書化された値です。動作条件: 模擬負荷条件下での機械の通常の動作サイクル。

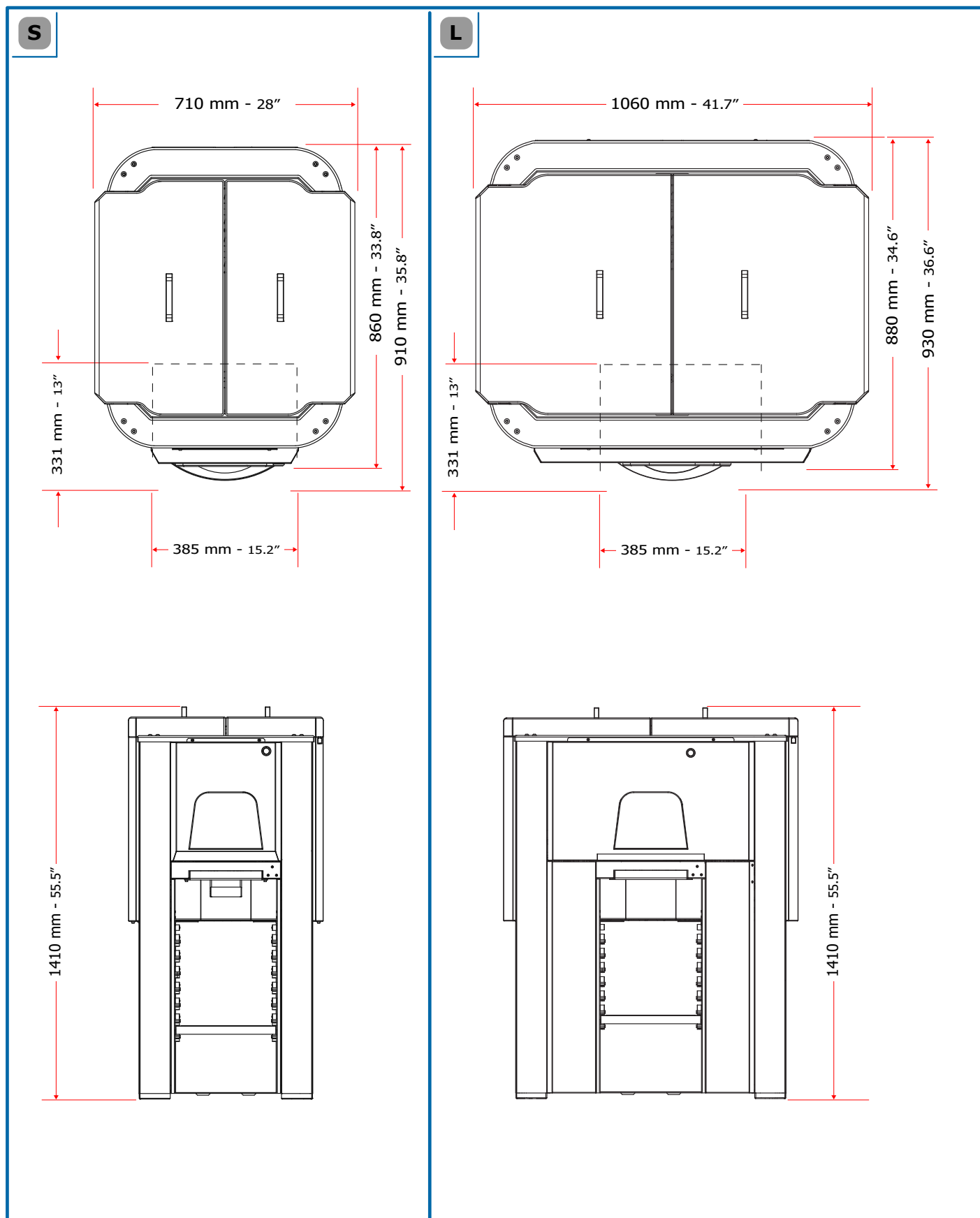
^(c) 環境作業条件は、使用される色材の種類に厳密に関係します (塗料メーカーに情報を問い合わせてください)。記載されているデータは、その機械にのみ有効です。

^(d) あらかじめ穴が開いている缶の穴の径 = フロー径 + 15 mm (0.59")

^(e) キャニスターが空の状態の機械のデータ。

8.2 寸法

図は参考程度のもので、機械の構成によって異なり、キャニスターが空で、付属品が装備されていない機械のデータです。



8.3 適合宣言

付録を参照してください。

8.4 保証

保証を有効にするために、機械の梱包に同梱されている所定の書式に必要事項を記入し、書式内に記載されている住所に送ってください。

 サービスが必要な場合は、弊社の認可を受けた資格のある担当者のみにお問い合わせください。すべての保守および交換作業では、純正のスペアパーツのみを使用してください

機械に備えられている保護装置や安全装置を変更したり取り外したりすると、保証が直ちに無効になるだけでなく、危険かつ違法です。

製造元は、装置の不適切な使用、または機械に取り付けられている保護装置や安全装置の改ざんによって引き起こされる人身傷害または物的損害に対して責任を負いません。

以下の場合、**製造元の保証は無効になります**：

- 機械の不適切な使用。
- マニュアルに記載されている指示および保守規則を遵守しなかった場合。
- 製造元によって認可されたサービス組織以外の担当者によって機械に変更や修理が加えられること、あるいは非純正のスペアパーツを使用すること。

Dichiarazione CE di Conformità EC Declaration of Conformity

Versione linguistica originale in Italiano

Translation of the original Italian version

DESCRIZIONE - DESCRIPTION

**DISPENSATORE AUTOMATICO
AUTOMATIC DISPENSER**

MODELLO - MODEL

MATRICOLA - SERIAL No.

[MACHINE NAME]

Fabbricante - Manufacturer

COROB India Pvt. Ltd. - Mumbai - India

**c/o Nandigram Factory: Shed No 1-B and 1-A, Nandigram Realtors, N H No 48, Near Nandigram Jain Temple,
Umbergaon, Bhilad, Valsad, Gujarat, 396105**

Mandatario e persona autorizzata a costituire il fascicolo tecnico:

Authorised representative and person authorised to compile the technical file:

COROB S.p.A. - Via Agricoltura, 103 - 41038 San Felice s/P (MO) - Italy

Il fabbricante dichiara sotto la propria esclusiva responsabilità che la macchina alla quale questa dichiarazione si riferisce è conforme ai requisiti essenziali previsti dalle seguenti direttive:

The manufacturer certifies, under its own responsibility, that the machine to which this statement refers to, complies with the essential requirements foreseen by the regulations:

- Direttiva Macchine 2006/42/CE
- Direttiva Compatibilità Elettromagnetica 2014/30/EU
- Direttiva 2011/65/EU come modificata da 2015/863/EU
- Direttiva WEEE 2012/19/EU
- Direttiva 2014/53/EU

- Machinery Directive 2006/42/EC
- Electromagnetic Compatibility Directive 2014/30/EU
- Directive 2011/65/EU as amended by 2015/863/EU
- WEEE Directive 2012/19/EU
- Directive 2014/53/EU

Nasser Arivoli (Managing Director)
COROB India Pvt. Ltd.
Mumbai, 15/06/2023

BG - Производителят, който е лицето упълномощено за изготвяне на техническата документация, декларира на собствена изключителна отговорност, че машината, за която се отнася тази декларация, е в съответствие със съществениите изисквания, предвидени от следните Директиви: Директива 2006/42/EC - Машини - Директива 2014/30/EU относно Електромагнитна съвместимост - Директива 2011/65/EU изменена с 2015/863/EU - Директива WEEE 2012/19/EU - Директива 2014/53/EU.
CS - Vyrobcе a osoba pověřená sestavením technické dokumentace stvrzují na svou vlastní zodpovědnost, že zařízení, ke kterému se toto toto prohlášení vztahuje, je v souladu se základními požadavky stanovenými následujícími směrnici: Směrnice o strojních zařízeních 2006/42/EC - Směrnice o elektromagnetické kompatibilitě 2014/30/EU - Směrnice 2011/65/EU ve znění 2015/863/EU - Směrnice WEEE 2012/19/EU - Směrnice 2014/53/EU.
DA - Fabrikanten og personen bemyndiget til at udarbejde den tekniske dokumentation erklærer på eget ansvar at maskinen, som denne erklæring henviser til, er i overensstemmelse med de væsentlige krav i de følgende direktiver: Maskindirektiv 2006/42/EC - Direktivet om elektromagnetisk kompatibilitet 2014/30/EU - Direktivet 2011/65/EU som ændret ved 2015/863/EU - Direktivet WEEE 2012/19/EU - Direktivet 2014/53/EU.
DE - Der Hersteller und autorisierte Verfasser der technischen Dokumentation erklärt unter eigener exklusiver Verantwortung, dass die Maschine, auf die sich diese Erklärung bezieht, den Grundanforderungen entspricht, die von den folgenden Richtlinien vorgesehen werden: Maschinenrichtlinie 2006/42/EC - Richtlinie zur elektromagnetischen Verträglichkeit 2014/30/EU - Richtlinie 2011/65/EU geändert durch 2015/863/EU - Richtlinie WEEE 2012/19/EU - Richtlinie 2014/53/EU.
EL - Ο κατασκευαστής, και ο εξουσιοδοτημένος συντάκτης του τεχνικού φακέλου, πιστοποιεί, ότι, με δική του υπαυτοσύνη, το μηχάνημα στο οποίο αναφέρεται το παρόν, συμμορφώνεται με τις ουσιαστικές απαιτήσεις που προβλέπονται από τους κανονισμούς: Οδηγία Μηχανήματος 2006/42/EC - Οδηγία Ηλεκτρομαγνητικής Συμβατότητας 2014/30/EU - Οδηγία 2011/65/EU όπως τροποποιήθηκε από το 2015/863/EU - Οδηγία WEEE 2012/19/EU - Οδηγία 2014/53/EU.
ES - El fabricante y la persona autorizada para componer el fascículo técnico declara, bajo su propia y exclusiva responsabilidad, que la máquina a la que hace referencia esta declaración guarda conformidad con los requisitos esenciales previstos por las directivas siguientes: Directiva de máquinas 2006/42/EC - Directiva de compatibilidad electromagnética 2014/30/EU - Directiva 2011/65/EU modificada por 2015/863/EU - Directiva WEEE 2012/19/EU - Directiva 2014/53/EU.
ET - Tootja ja tehnilise toimiku koostajaks volitatud isik kinnitavad oma täielikul vastutusel, et seade, millele käesolev avaldus viitab, vastab järgnevatel regulatsioonide põhinõudmistele: Masinadirektiiv 2006/42/EC - Elektromagnetilise ühilduvuse direktiiv 2014/30/EU - Direktiiv 2011/65/EU muudetud 2015/863/EU-ga - Direktiiv WEEE 2012/19/EU - Direktiiv 2014/53/EU.
FI - Valmistaja ja henkilö, joka on valtuutettu laatimaan tekninen asiakirja-aineisto, vakuuttavat omalla vastuullaan, että kone, johon tämä lausunto viittaa, vastaa seuraavien direktiivien olennaisia vaatimuksia: Konedirektiivi 2006/42/EC - Sähkömagneettista yhteensopivuutta koskeva direktiivi (EMC) 2014/30/EU ja Direktiivi 2011/65/EU sellaisena kuin se on muutettuna direktiivillä 2015/863/EU - Direktiivi WEEE 2012/19/EU - Direktiivi 2014/53/EU.
FR - Le fabricant, et toute personne autorisée à établir le dossier technique, déclare sous sa propre responsabilité que la machine à laquelle se rapporte cette déclaration est conforme aux exigences essentielles prévues par les directives suivantes : Directive Machines 2006/42/EC - Directive Compatibilité Électromagnétique 2014/30/EU - Directive 2011/65/EU telle que modifiée par 2015/863/EU - Directive WEEE 2012/19/EU - Directive 2014/53/EU.
GA - Dearbhaíonn an déantóir, agus an duine atá údaráithe chun an comhad teicniúil a chur le chéile, ar a fhreagracht féin go bhfuil an gléas a mbaineann an ráiteas seo leis i gcomhréir leis na riachtanais atá leagtha amach sna treoracha seo a leanas: Treoir um Innealra 2006/42/EC - Treoir um Chomhoiriúnacht Leictreamaighnéadach 2014/30/EU - Treoir 2011/65/EU arna leasú le 2015/863/EU - Treoir WEEE 2012/19/EU - Treoir 2014/53/EU.
HR - Proizvođač, i osoba ovlaštena za sastavljanje tehničke dokumentacije, izjavljuje pod svojom punom odgovornošću da je stroj na koji se odnosi ova izjava sukladan bitnim zahtjevima slijedećih direktiva: Direktive o strojevima 2006/42/EC - Direktive o elektromagnetskoj kompatibilnosti 2014/30/EU - Direktive 2011/65/EU izmijenjena i dopunjena 2015/863/EU - Direktive WEEE 2012/19/EU - Direktive 2014/53/EU.
HU - A gyártó, valamint a műszaki fűzet összeállítására felhatalmazott személy saját felelősségük tudatában kijelentik, hogy a jelen nyilatkozat tárgyát képező gép megfelel az alábbi irányelvek alapvető rendelkezéseinek: 2006/42/EC Gépek irányelv - 2014/30/EU Elektromágneses kompatibilitás irányelv - 2011/65/EU irányelv, módosítással módosított 2015/863/EU irányelv - WEEE 2012/19/EU irányelv - 2014/53/EU irányelv.
IS - Framleiðandinn, og einstaklingurinn sem hefur heimild til að taka saman tekniskjölinn, vottar, að eigin ábyrgð, að vélin sem vísað er til í þessari yfirlýsingu, sé í samræmi við þær grunnkröfur sem gert er ráð fyrir í eftirfarandi reglugerðum: Vélátalskipun 2006/42/EC - Tílskipun um rafsegulsviðsamhæfi 2014/30/EU - Tílskipun 2011/65/EU eins og henni var breytt með 2015/863/EU - Tílskipun WEEE 2012/19/EU - Tílskipun 2014/53/EU.
LT - Gamintojas ir asmuo įgaliotas sudaryti techninę dokumentaciją, savo atsakomybe pareiškia, kad staklės, kurioms skirta ši deklaracija, atitinka esminius šių direktyvų reikalavimus: Mašinų direktyva 2006/42/EC - Elektromagnetinio suderinamumo direktyva 2014/30/EU - Direktyva 2011/65/EU su pakeitimais, padarytais 2015/863/EU - Direktyva WEEE 2012/19/EU - Direktyva 2014/53/EU.
LV - Ražotājs un persona, kas ir pilnvarota sastādīt tehnisko dokumentāciju, apliecina uz savu atbildību, ka mašina, uz kuru šī deklarācija attiecas, atbilst šādu direktīvu: pamatprasībām Mašīnu Direktīva 2006/42/EC - Elektromagnētiskās saderības Direktīva 2014/30/EU - Direktīva 2011/65/EU grozīta ar 2015/863/EU pantu - Direktīva WEEE 2012/19/EU - Direktīva 2014/53/EU.
MT - Il-manifattur, u l-persuna awtorizzata biex tikkompila l-fajl tekniku jiddikjaraw taht ir-responsabbiltà tagħhom stess li l-magna li għallha qed issir din id-dikjarazzjoni hija konformi għar-rekwiziti essenzjali previsti mid direttivi li ġejjin: Direttiva dwar il-Magni 2006/42/EC - Direttiva dwar il-Kompatibilità Elettromagnetika 2014/30/EU - Direttiva 2011/65/EU kif emendata b'2015/863/EU - Direttiva WEEE 2012/19/EU - Direttiva 2014/53/EU.
NL - De fabrikant en gemachtigde voor het samenstellen van het technisch dossier verklaart dat het betreffende toestel voldoet aan de toepasselijke fundamentele voorschriften van de volgende richtlijnen: Machinerichtlijn 2006/42/EC - EMC-richtlijn 2014/30/EU - Richtlijn 2011/65/EU zoals gewijzigd bij 2015/863/EU - Richtlijn WEEE 2012/19/EU - Richtlijn 2014/53/EU.
NO - Produzenten og den personen som er autorisert til å utstede den tekniske dokumentasjonen, erklærer under eget ansvar, at den maskinen denne erklæringen viser til, er i samsvar med de grunnleggende kravene som fremsettes i følgende direktiv: Maskindirektivet 2006/42/EC - Direktivet om elektromagnetisk kompatibilitet 2014/30/EU - Direktiv 2011/65/EU som endret ved 2015/863/EU - Direktiv WEEE 2012/19/EU - Direktiv 2014/53/EU.
PL - Producent oraz osoba upoważniona do sporządzenia dokumentacji technicznej zaświadcza na własną, wyłączną odpowiedzialność, że maszyna, której dotyczy niniejsza deklaracja, jest zgodna z zasadniczymi wymaganiami przewidzianymi w następujących dyrektywach: Dyrektywa Maszynowa 2006/42/EC - Dyrektywa Kompatybilności Elektromagnetycznej 2014/30/EU - Dyrektywa 2011/65/EU zmieniona przez 2015/863/EU - Dyrektywa WEEE 2012/19/EU - Dyrektywa 2014/53/EU.
PT - O Fabricante e a pessoa autorizada a preencher o documento técnico declaram, à sua inteira e exclusiva responsabilidade, que a máquina a que se refere esta declaração está em conformidade com os requisitos essenciais estabelecidos pelas seguintes diretivas: Diretiva Máquinas 2006/42/EC - Diretiva Compatibilidade Eletromagnética 2014/30/EU - Diretiva 2011/65/EU alterada pela 2015/863/EU - Diretiva WEEE 2012/19/EU - Diretiva 2014/53/EU.
RO - Fabricantul și persoana autorizată pentru realizarea dosarului tehnic declară pe propria răspundere că mașina la care se referă prezenta declarație se conformează cerințelor esențiale prevăzute de următoarele directive: Directiva 2006/42/EC Mașini - Directiva 2014/30/EU Compatibilitatea electromagnetică - Directiva 2011/65/EU astfel cum a fost modificat de 2015/863/EU - Directiva WEEE 2012/19/EU - Directiva 2014/53/EU.
SK - Vyrobcа a osoba poverená vypracovaním technickej dokumentácie na vlastnú zodpovednosť prehlasujú, že stroj, na ktorý sa toto prehlásenie vzťahuje, je v súlade so základnými požiadavkami, ktoré vyžadujú nasledujúce smernice: Smernica o strojných zariadeniach 2006/42/EC - Smernica o elektromagnetickej kompatibiliti 2014/30/EU - Smernica 2011/65/EU zmenená a doplnená 2015/863/EU - Smernica WEEE 2012/19/EU - Smernica 2014/53/EU.
SL - Proizvajalec in oseba, pooblašena za sestavo tehničnega dokumenta, s polno odgovornostjo izdaja potrdilo, da je stroj, predmet te izjave, izdelan v skladu z osnovnimi zahtevami, kot jih določajo predpisi: Direktiva o strojih 2006/42/EC - Direktiva o elektromagnetni združljivosti 2014/30/EU - Direktiva 2011/65/EU kakor je bila spremenjena z 2015/863/EU - Direktiva WEEE 2012/19/EU - Direktiva 2014/53/EU.
SV - Tillverkaren och den person som har befogenhet att sammanställa den tekniska dokumentationen intygar, på eget ansvar, att maskinen denna försäkran hänvisar till överensstämmer med de väsentliga krav som ställs av följande direktiv: Maskindirektiv 2006/42/EC - Direktivet om elektromagnetisk kompatibilitet 2014/30/EU - Direktivet 2011/65/EU ändrat genom 2015/863/EU - Direktivet WEEE 2012/19/EU - Direktivet 2014/53/EU.
TR - Üretici ve teknik dosyayı oluşturmakla görevli kişi bu beyanını ilgili olduğu makinenin, aşağıdaki direktifler tarafından öngörülen temel gerekliliklere uygun olduğunu kendi sorumluluğu altında beyan eder: 2006/42/EC Makine Direktifi - 2014/30/EU Elektromanyetik Uyumluluk Direktifi - 2015/863/EU tarafından değiştirilen 2011/65/EU sayılı Direktif - WEEE 2012/19/EU Direktifi - 2014/53/EU Direktifi.

UK Declaration of Conformity

Description	AUTOMATIC DISPENSER
Model	[MACHINE NAME]
Serial Number	
Manufacturer:	COROB India Pvt. Ltd. - Mumbai - India, c/o Nandigram Factory: Shed No 1-B and 1-A, Nandigram Realtors, N H No 48, Near Nandigram Jain Temple, Umbergaon, Bhilad, Valsad, Gujarat, 396105

The manufacturer certifies, under its own responsibility, that the machine to which this statement refers to, complies with the relevant statutory requirements applicable to the specific machine:

- The Supply of Machinery (Safety) Regulations 2008 (S.I. 2008:1957)
- The Electrical Equipment (Safety) Regulations 2016 (S.I. 2016:1101)
- The Electromagnetic Compatibility Regulations 2016 (S.I. 2016:1091)
- The Restriction of the Use of Certain Hazardous Substances in Electrical and Electronic Equipment Regulations 2012 (S.I. 2012 No. 3032)
- The Waste Electric and Electronic Equipment (WEEE) Regulations 2013
- The Radio Equipment Regulations 2017 (S.I. 2017:1206)

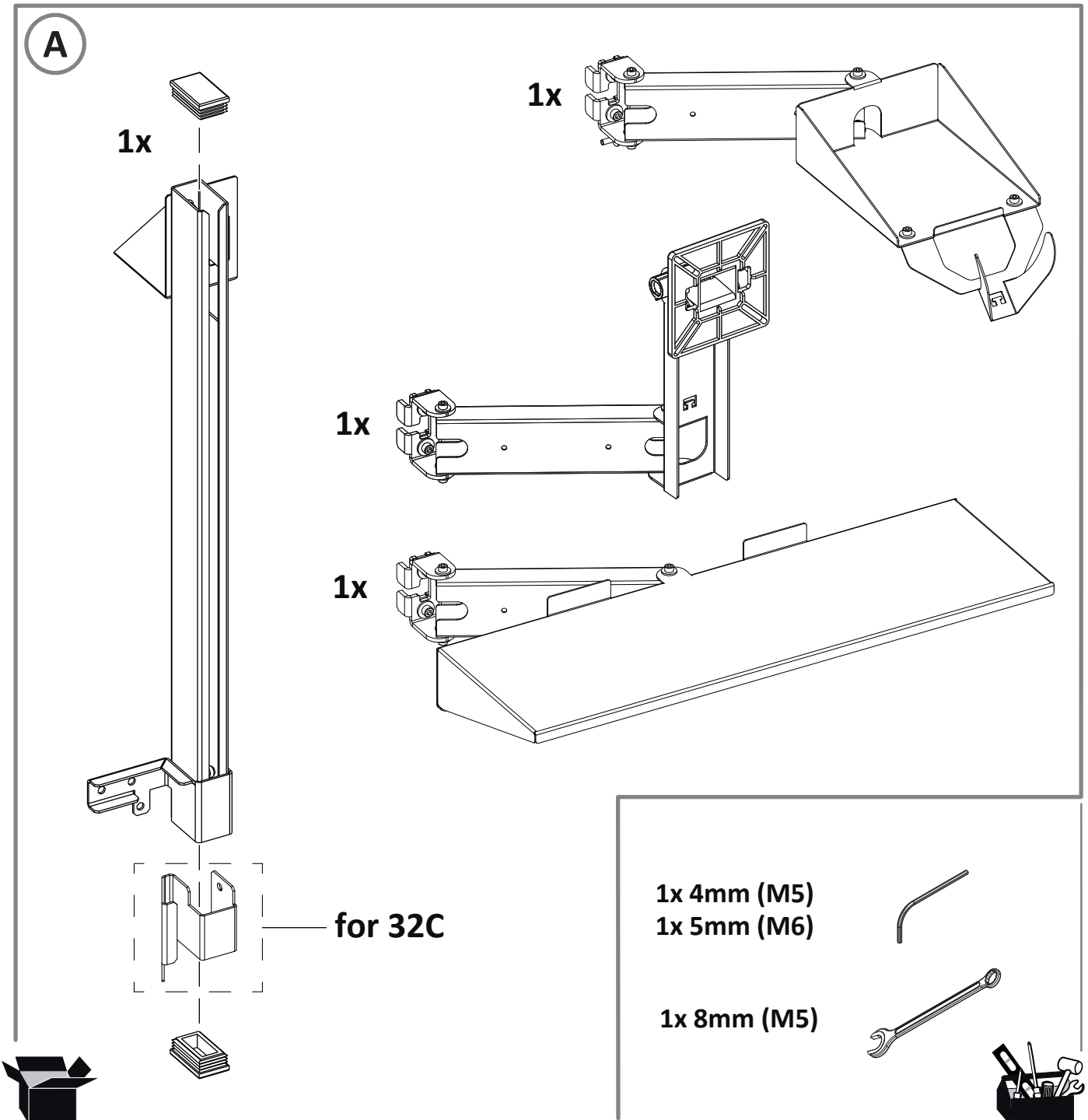
Nasser Arivoli
(Managing Director)
COROB India Pvt. Ltd.
Mumbai, 15/06/2023



Installation must be carried out only by qualified personnel.



Do not place any objects other than monitor, keyboard, mouse, label printer on top of the support kit.



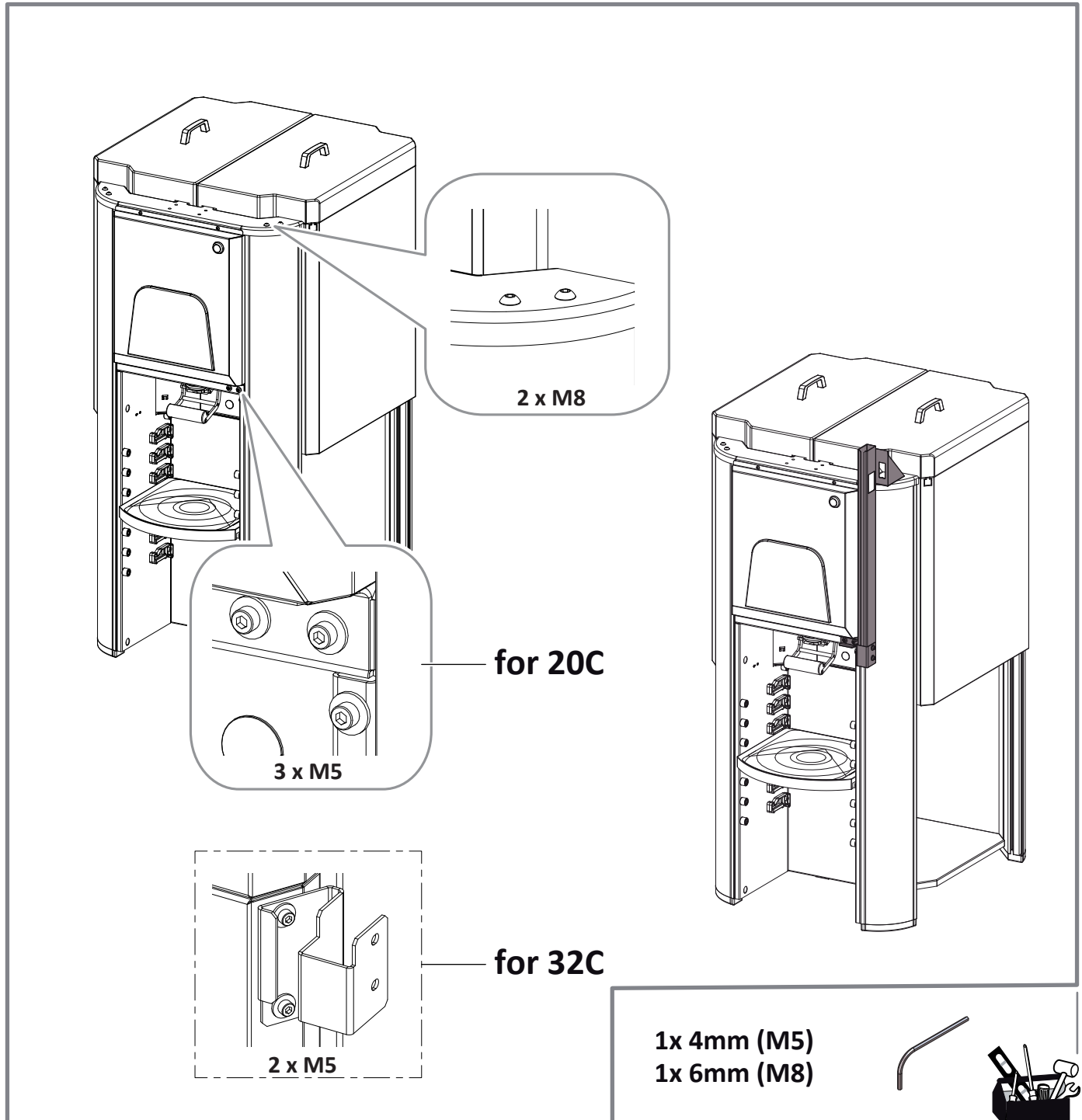
EVO1ST - SUPPORT FOR MONITOR/KEYBOARD/DEVICES

ASSEMBLY INSTRUCTIONS



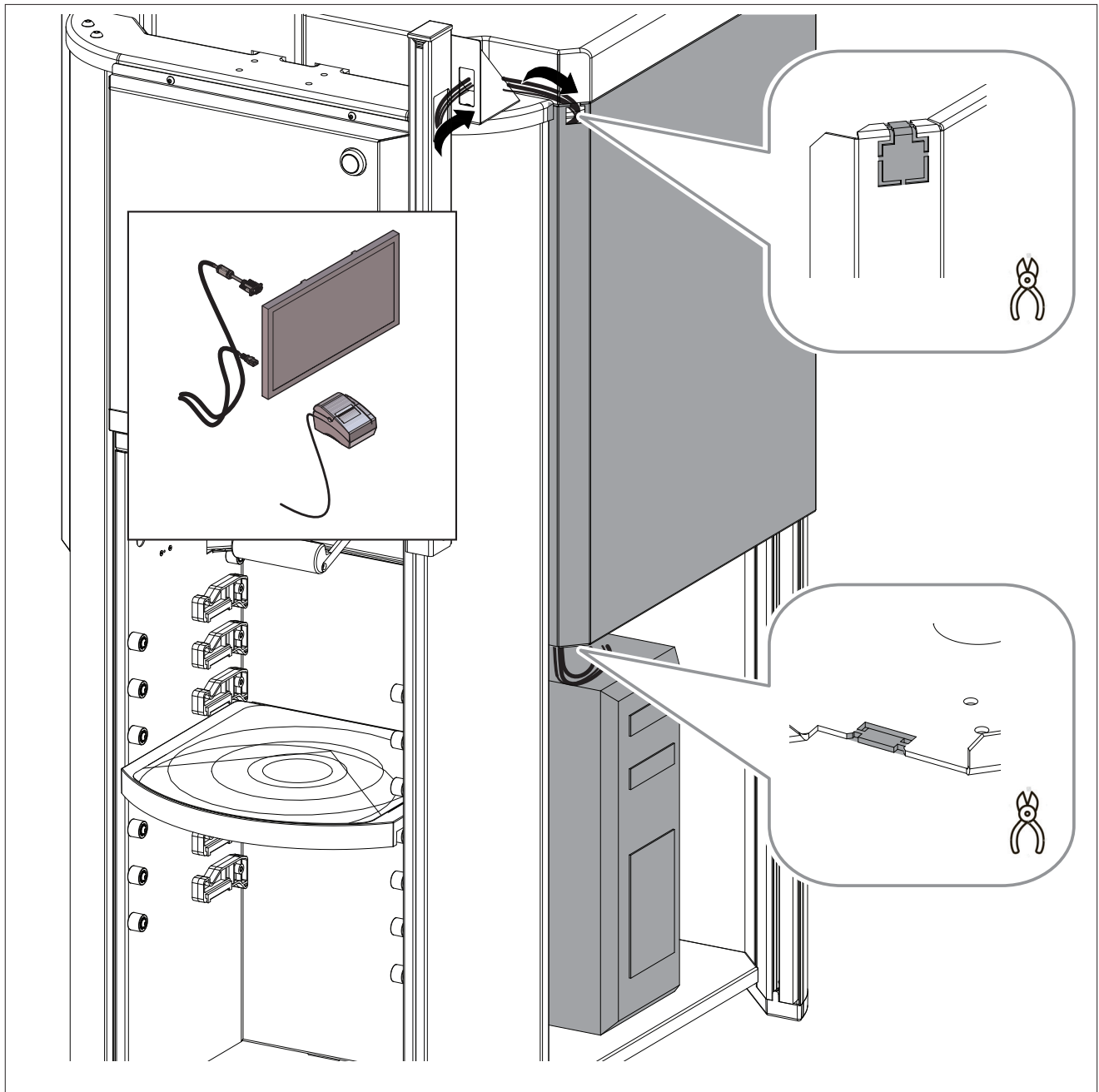
Assemble the column on shown locations of the machine at top and bottom with the hardware present on the machine itself.

For 32C, assemble the specific bracket before placing the column as shown.



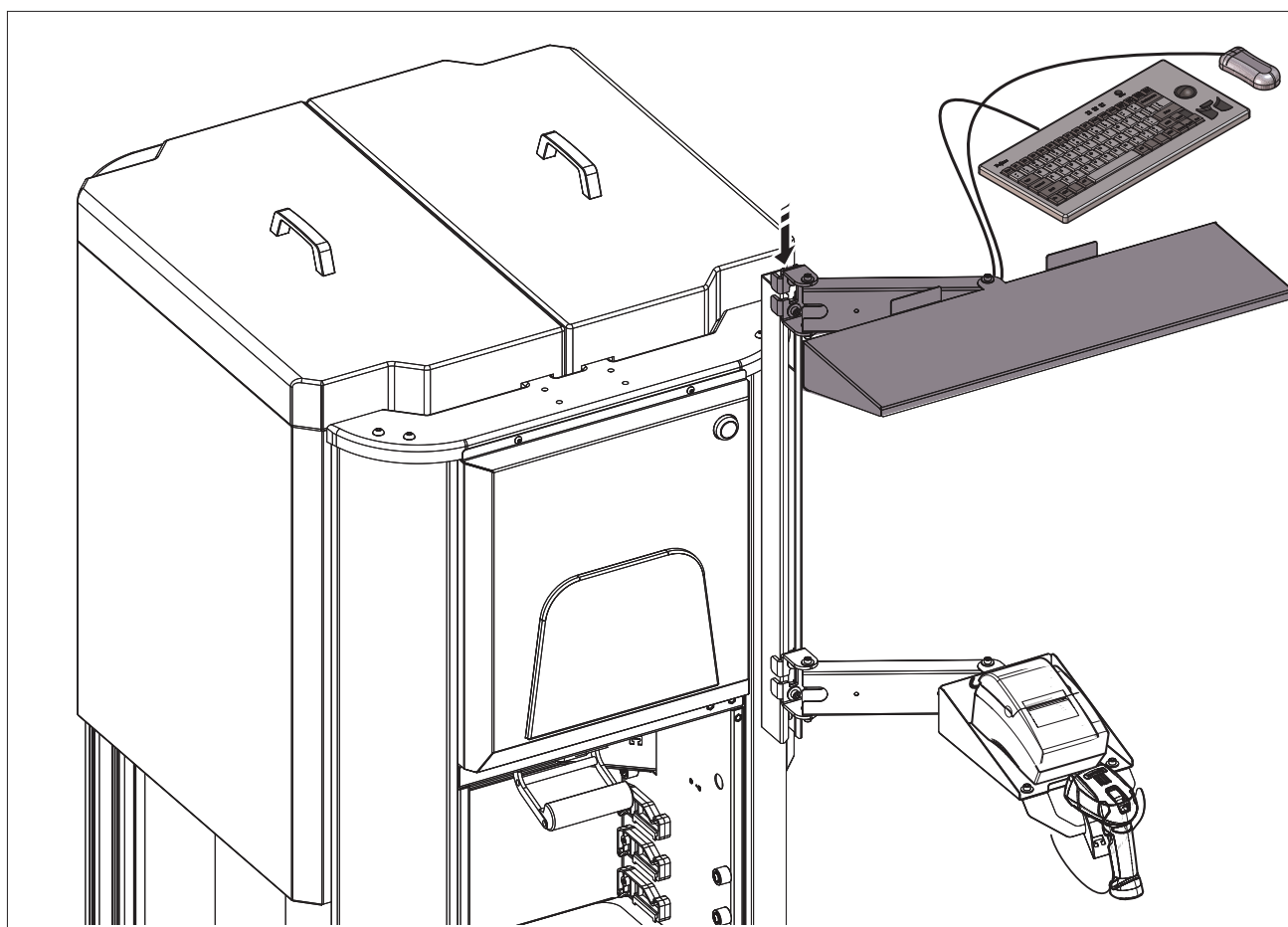
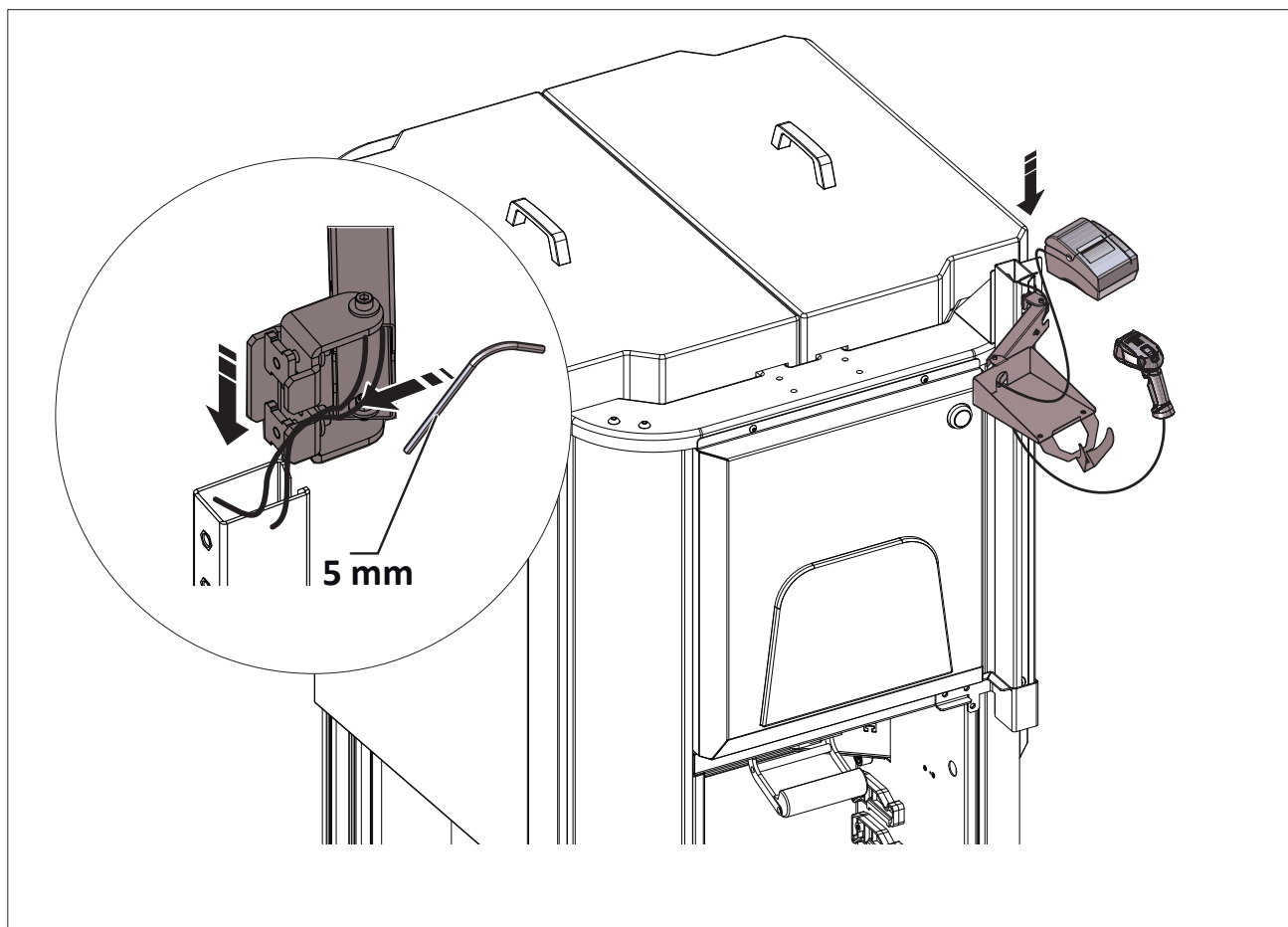
Remove the pre-cut present on the RH Side Panel and Bottom saps plate with the help of a cutting tool. Now Lay down the following devices cables, from the inside through the opening and down through the side panel: monitor power & signal cables - label printer power cable.

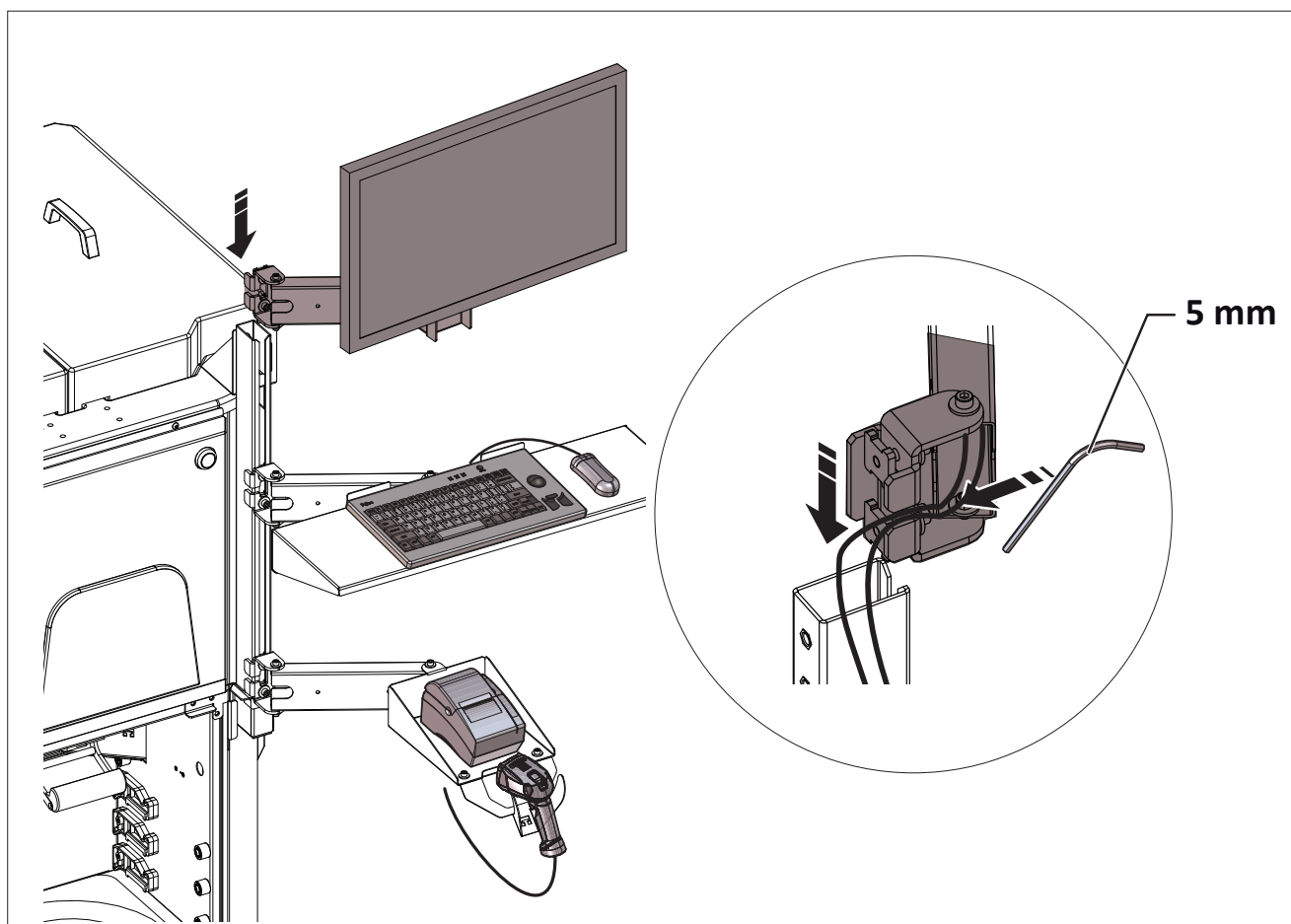
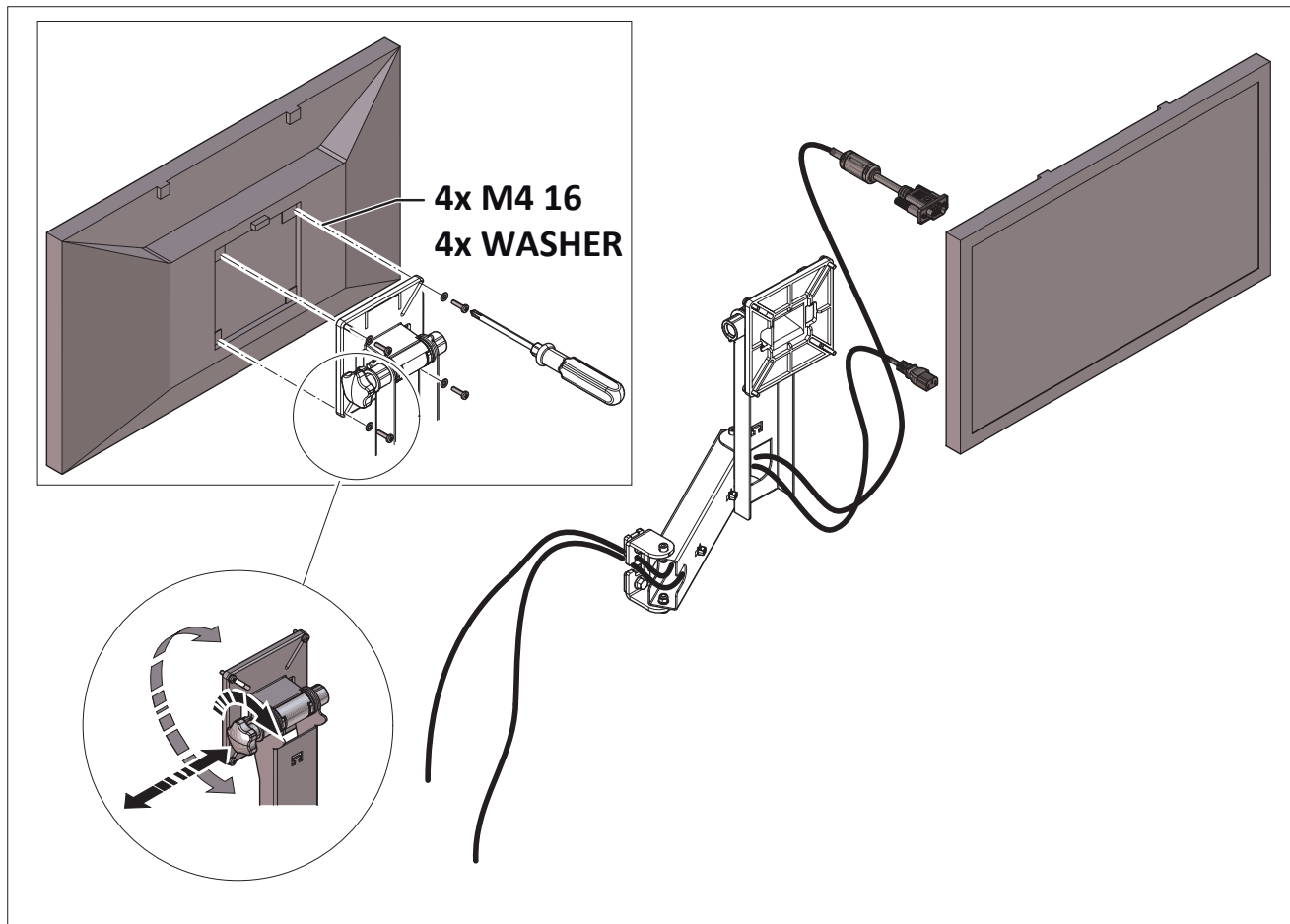
All the other devices cables can be inserted through the support arms and columns as long as the devices are put in place.



EVO1ST - SUPPORT FOR MONITOR/KEYBOARD/DEVICES

ASSEMBLY INSTRUCTIONS





EVO1ST - SUPPORT FOR MONITOR/KEYBOARD/DEVICES

ASSEMBLY INSTRUCTIONS

